

2024年度 秋 学修コンシェルジュによる 大学院課程理工学系コース新入生ガイダンス

(9月入学者対象)

学生支援センター未来人材育成部門 学修コンシェルジュ相談窓口

✉ concierge.info@jim.titech.ac.jp



学修コンシェルジュ窓口HP

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

学修コンシェルジュ



日付：2024年9月26日、28日

1. 学修コンシェルジュについて p.3-6

2. 学生証を受け取ったら p.7-11

- 1) 早速設定しておきましょう p.8-10
- 2) 早速確認しておきましょう p.11

3. 大学院課程の学修について p.12-20

- 1) 大学院課程での学修 p.13-17
- 2) 修士課程のカリキュラムと修了要件等 p.18
- 3) 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等 p.19
- 4) 修士課程から博士後期課程への進学 p.20

4. 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム データサイエンス・AI全学教育プログラム p.21-23

- 1) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム p.22
- 2) データサイエンス・AI全学教育プログラム p.23

5. リベラルアーツ教育（文系教養科目） p.24-33

- 1) リベラルアーツ教育（文系教養科目） p.25-31
- 2) 日本語・日本文化科目 p.32
- 3) ライティングセンター p.33

6.アントレプレナーシップ教育 p.34-41

- 1) アントレプレナーシップ教育 p.35-40
- 2) 発展的なアントレプレナーシップ科目 p.41

7. 学位プログラムとして特別に設けた教育課程 p.42-56

- 1) リーダーシップ教育課程 p.44-45
- 2) 物質・情報卓越教育課程 p.46-48
- 3) 超スマート社会卓越教育課程 p.49-51
- 4) エネルギー・情報卓越教育課程 p.52-54
- 5) 各教育課程の説明会 p.55-56

8. 経済的支援 p.57-66

- 1) 経済的支援 p.58-60
- 2) 日本学術振興会特別研究員 p.61-66

9. 海外留学と語学学修 p.67-70

- 1) 海外留学 p.68
- 2) 語学学修 p.69
- 3) にほんご相談室 p.70

10. 大学院生活をより豊かに p.71-90

- 1) 支援体制・相談窓口 pp.72-73
- 2) 図書館 p.74-75
- 3) リベラルアーツ図書室 p.76
- 4) 東京科学大学博物館・資史料館 p.77
- 5) TSUBAME計算サービス p.78
- 6) オンライン教育：MOOC p.79
- 7) アントレプレナーシップ育成プログラム/起業支援 p.80-81
- 8) 東工大同窓会による支援活動 p.82
- 9) Taki Plazaでの学生交流 p.83-85
- 10) 大岡山キャンパスのグループ学修室 p.86
- 11) 修学国際交流・留学生支援 p.87-88
- 12) 学生支援センター主催のセミナー p.89

11. 修士課程2年間の主なスケジュールと進路報告のお願い p.90-92

- 1) 修士課程2年間の主なスケジュール（概要） p.91
- 2) 進路報告のお願い p.92

Appendix 東工大の歴史と教育 p.93-103

- 1) 東工大の歴史 p.94-99
- 2) 東工大の教育 p.100-103

1. 学修コンシェルジュについて

学修全般に関するご相談を受付けています。

- 皆さんが本学での学修をスムーズに進めていけるように、相談、ガイダンスやセミナーなどの支援を提供しています。
- 履修の仕方、学修計画や大学生活について何か困ったこと・わからないことがあれば、気軽にご相談ください。英語対応可能です。

◇相談の利用方法

- 対面相談：Taki Plaza、もしくはすずかけ台図書館の窓口へお越しください。
詳細は続く2ページをご覧ください。
- メール相談・Zoomでの相談：氏名、学籍番号、所属学院・系／コース、および相談内容を名記したうえ、次のアドレスへメールをお送りください。Zoomでの相談をご希望の場合はまずは相談日程を調整しますので、メールで希望日時をお知らせください。

✉ 学修コンシェルジュ相談窓口：concierge.info@jim.titech.ac.jp

さらに詳しい情報は学修コンシェルジュHPをご確認ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

※学修コンシェルジュは、学生支援センター未来人材育成部門に所属するスタッフ（専門員）です。



[大岡山キャンパス]

Taki Plaza 学修コンシェルジュ相談窓口



- 1 本館
- 2 学術国際情報センター(GSIC)
- 3 Hisao & Hiroko Taki Plaza(Taki Plaza)
- 4 百年記念館（博物館）
- 5 大岡山図書館

場所：Taki Plaza 地下1階
Student Support Center窓口

時間：月曜日～金曜日 9:15～17:15

★ご利用の際は、「学修コンシェルジュに相談」とお伝えください。

※祝日・年末年始はお休みです。

※イベント等で、一時的に不在場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。



[すずかけ台キャンパス]

すずかけ台図書館学修コンシェルジュ相談窓口

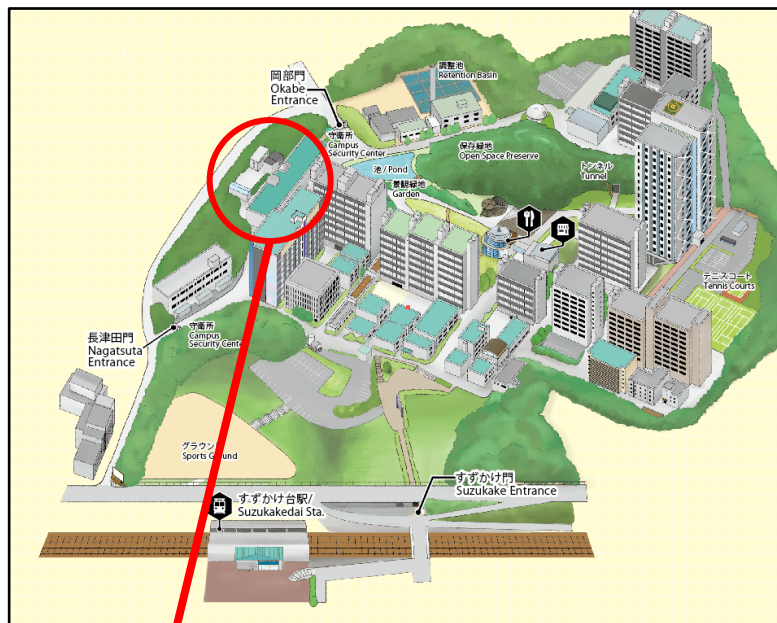
場所：すずかけ台図書館1階
(1階入口に入って右奥)

時間：毎週2日間 **9:30～16:00**
(11:15～12:15を除く)

※すずかけ台窓口の開室情報は、
Googleカレンダーでご確認ください。



※祝日・年末年始はお休みです。
※イベント等で、一時的に不在の場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の影響や、その他、やむを得ない事情により窓口を閉めることがあります。



すずかけ台図書館



2. 学生証を受け取ったら

1) 早速設定しておきましょう

☐ キャンパス無線LANの設定

- ・キャンパスで無線LANを利用する場合は、次の利用ガイドに従い事前に設定を行ってください。

<https://www.noc.titech.ac.jp/wireless/sci-guide.shtml>



☐ ソフトウェア包括ライセンスサービス

- ・Microsoft Officeなど、ソフトウェア包括契約に基づき様々なサイトライセンスが提供されています。利用情報を確認のうえ活用しましょう。

<https://www.gsic.titech.ac.jp/node/39>

<http://www.officesoft.gsic.titech.ac.jp/index.shtml>



☐ Science Tokyo認証システム

- ・後続のスライドでご紹介する「Science Tokyo Gmail」「Science Tokyo Slack / Box」等を利用するために必要なログイン認証システムです。初期設定を済ませておきましょう。

<https://www.dx.titech.ac.jp/public/st/auth/>



□ Science Tokyo Gmail (「@m.isct.ac.jp」) の設定

- ・ 本学構成員それぞれにメールアドレスが付与されています。
- ・ 在学中はこちらのアドレスを使いましょう。
- ・ 授業や履修申告などに関する重要な情報も届きます。しっかり確認するようにしましょう。
- ・ 利用方法の詳細は次のサイトを参照ください。

<https://www.dx.titech.ac.jp/st/gmail/>



□ Tokyo Tech Mail (「@m.titech.ac.jp」) の設定

- ・ 理工学系ICカード保持者に付与されるメールアドレスです。
- ・ T2SCHOLAを利用するにはTokyo Tech Mailの取得が必須です。
- ・ 利用方法の詳細は次のサイトを参照ください。自動転送設定や携帯電話アドレスへの転送設定の方法も掲載しています。

<https://portal.titech.ac.jp/ezguide/webmail.html>



□ Science Tokyo Slack / Box

- ・本学ではコミュニケーションツール「Slack」とストレージサービス「Box」を大学の情報基盤として、全ての課程学生等に提供しています。
- ・大学から皆さんへのお知らせをメールからSlack / Boxに順次切り替えていますので、投稿をチェックするようにしましょう。
- ・メールの持つ脆弱性等を避け、安全なコミュニケーションが可能なSlack/Boxを積極的に活用していきましょう。

<https://www.dx.titech.ac.jp/st/login.html>



2) 早速確認しておきましょう



□ 2024年度『大学院学修案内』

大学院共通の履修案内と各コースの学修課程に加えて、各種科目群の履修案内、所属コース以外の教育課程やプログラムの履修案内も含まれています。『学修案内』の**内容に基づき履修計画を立てましょう。**

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2024/graduate/

□ 大学院新入生オリエンテーション

個別科目のオリエンテーション（例：**アントレプレナーシップ科目オリエンテーション**）および**コースのオリエンテーション**があります。いずれも履修・学修に関する必要な情報について説明を行う予定です。日程を確認のうえ、必ず参加するようにしてください。

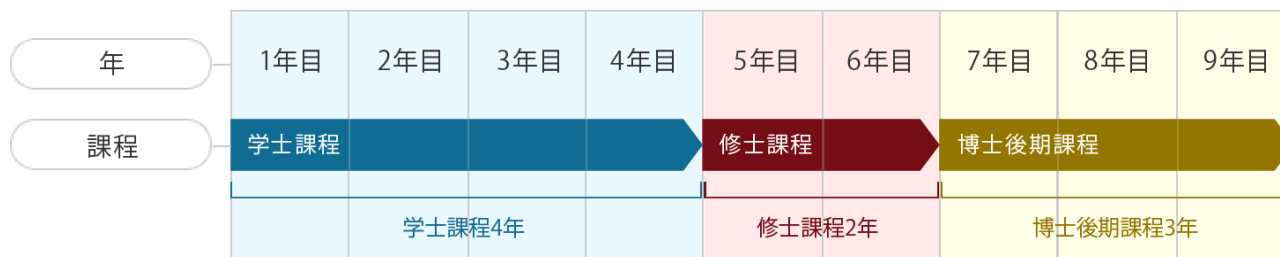
3. 大学院課程の学修について

1) 大学院課程での学修

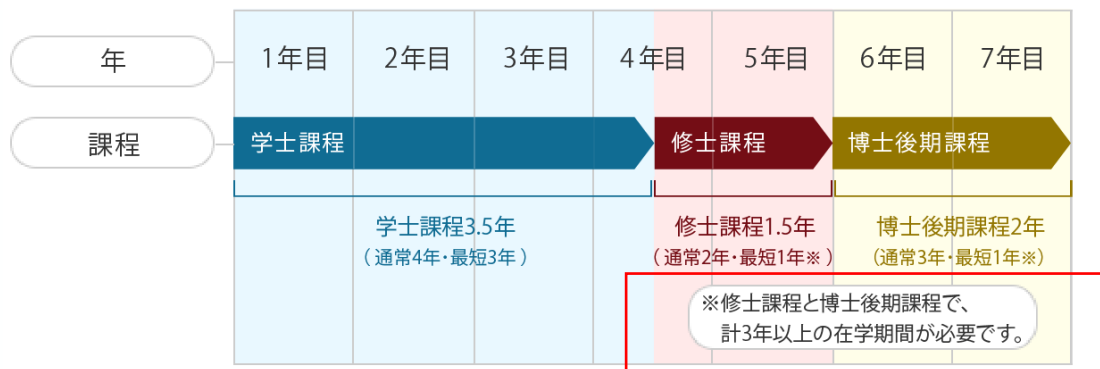
● 学修期間

- 標準の在学期間は、修士2年間、博士3年間
- 早期卒業・短縮修了すると大学院課程を最短3年で博士学位を取得できます。自らの目標に合わせて柔軟な学修期間に設定できます。

【標準の在学期間】



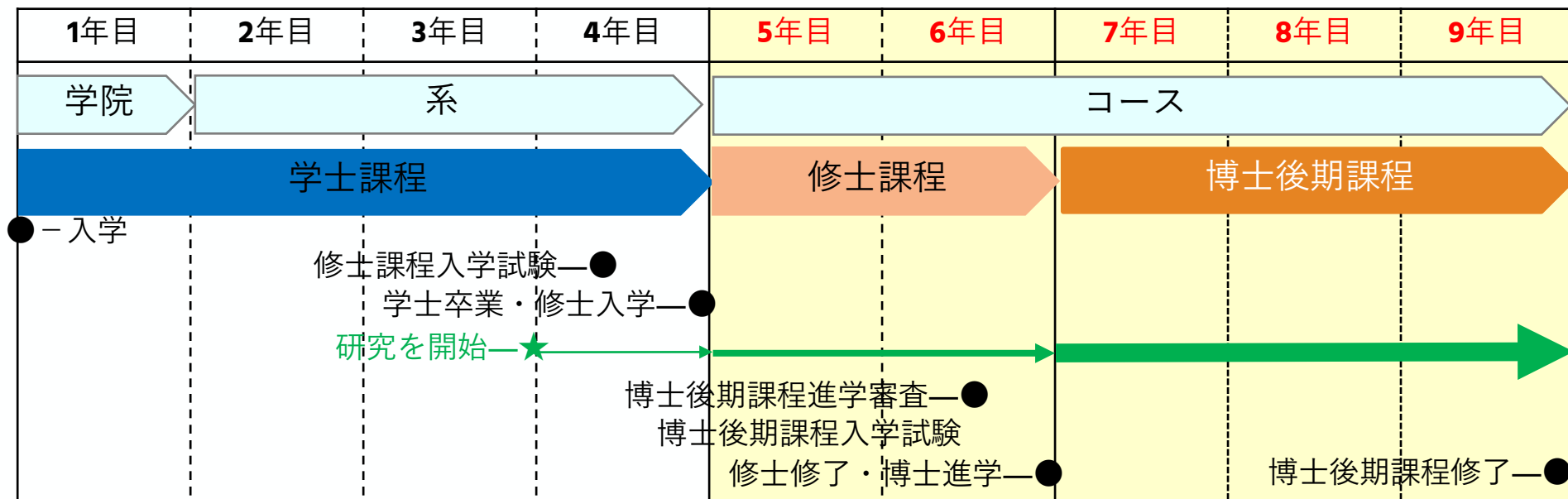
【7年間で早期卒業・短縮修了する例】



● 学士課程から大学院課程へ

学士課程（4年間）

大学院課程（5年間） 修士課程 + 博士後期課程



※全体人数は、2024.5.1現在

学士 全体4,771名
留学生（4.5%）
入学 約1,100名/年

◆8割強
900名
前後/年

修士 全体3,910名
留学生（20%）
入学 約1,950名/年

◆2割弱
250名
前後/年

博士 全体1,655名
留学生（46%）
入学 約450名/年

他大学から入学 約1050名/年

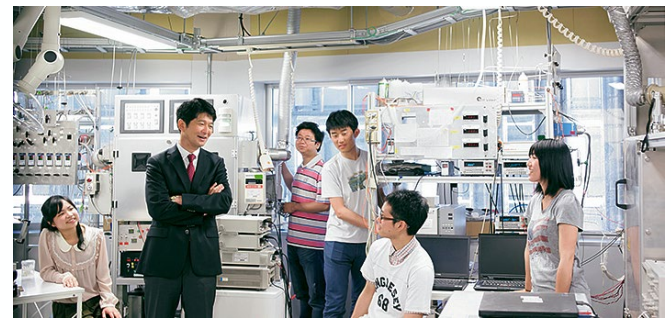
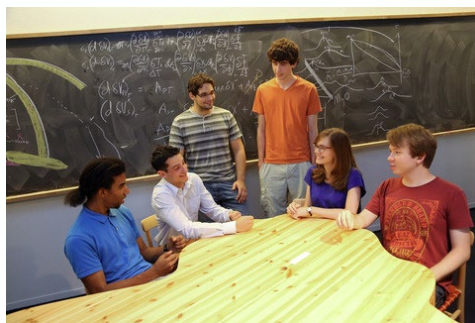
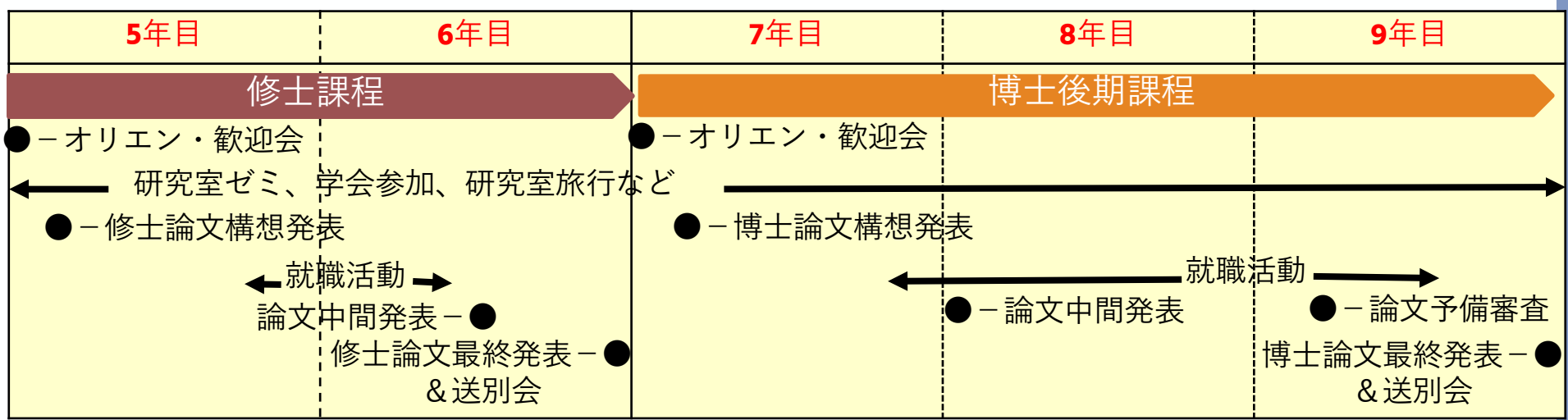
他大学から入学 約200名/年

学士
授業の履修（124単位以上/4年）
基盤となる専門知識や能力
を身につける

修士
授業は少ない（30単位以上/2年）
研究室での生活がメイン
本格的な研究を開始

博士
授業はさらに少ない（24単位以上/3年）
最先端・独創的な研究を実施
一人前の研究者へ

● 年間スケジュールと主な活動の例 (修士・博士)

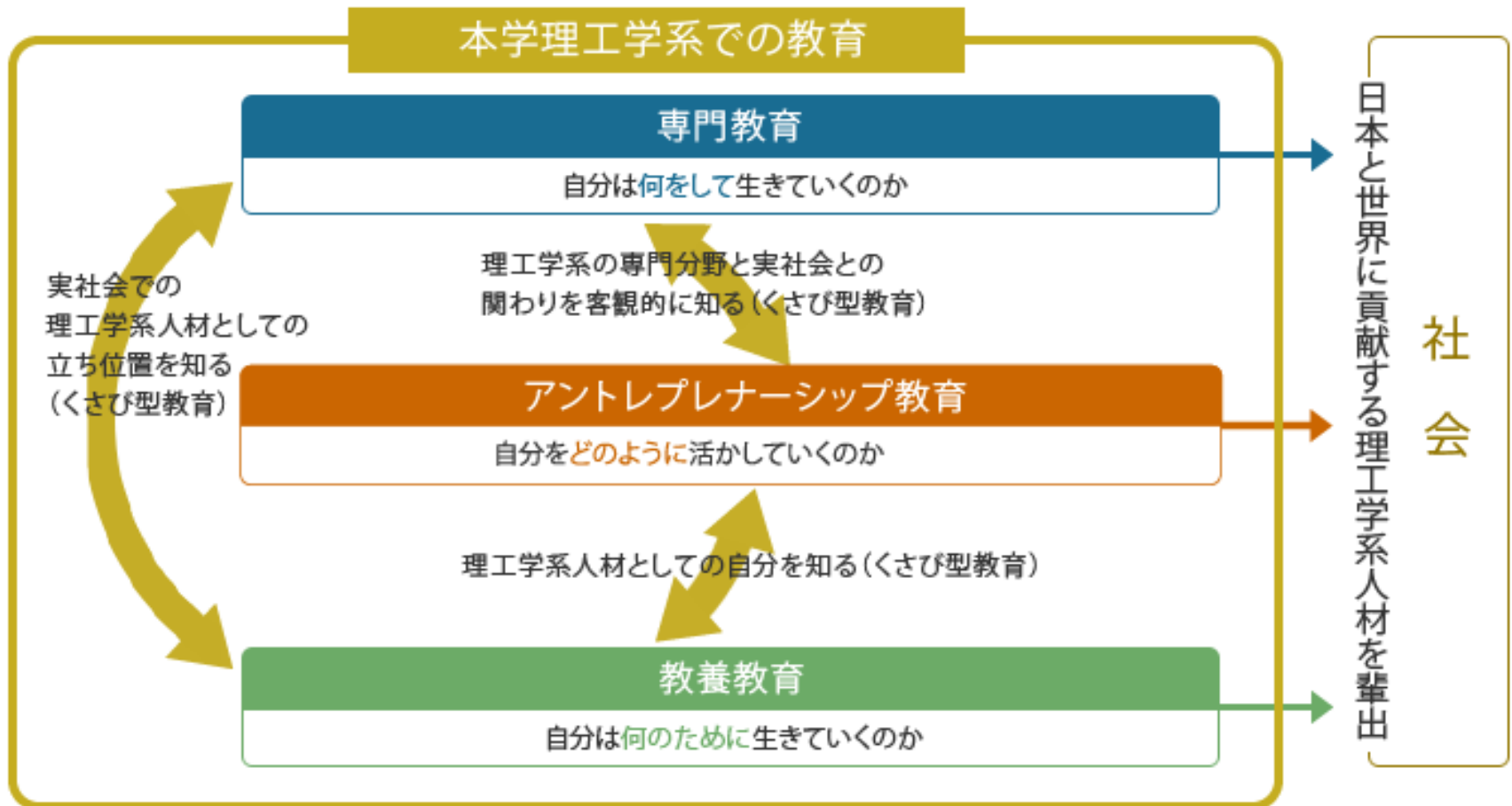


大学院生は、授業や講義よりも
研究室での研究が主な活動の場です。

実験や、議論、論文読み会、セミナーなど、指導教員や研究室のメンバーとともに過ごす時間が多くを占めることになります。
研究室メンバーには、留学生や社会人、研究生がいることもあります。
また、企業インターンシップに参加したり、国際学会で発表したり、学術誌に研究成果を投稿することもあります。

● 本学理工学系の教養教育とアントレプレナーシップ教育

- 本学理工学系学生に期待されているのは、理工学系の専門性だけではありません。
- 自分は何のために生きていくのか、自分をどのように活かしていくのか、という自分の考えを持つことで、専門分野を活かし社会に貢献する力が身につきます。



● 大学院課程でできること

1. 修士・博士の学位が取れる、自分の最初の1つの専門領域を確立する

- ・講義（コースワーク）による知識・技術習得
- ・研究室に所属して研究を行い学位論文を完成させる

2. 世界レベルの研究に参加できる

- ・最先端の研究者との交流
- ・留学による研究への参加

3. 教養を身につけることができる

- ・教養教育に関する講義
- ・同窓会主催の各種講演会
- ・留学生との交流

4. 各学会活動への参加

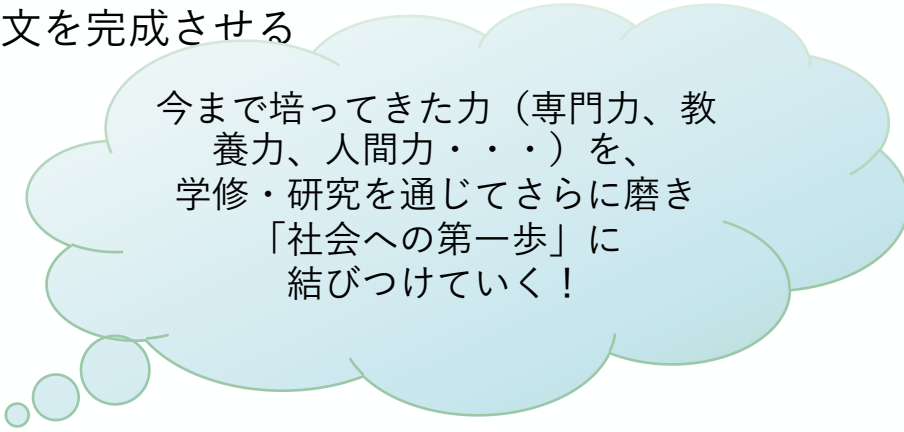
- ・学会での最先端技術情報の収集
- ・研究論文の発表

5. 修士課程の副専門学修プログラム、特別専門学修プログラムで専門の幅を広げる

6. 学位プログラムとして特別に設けた教育課程で「専門+α」を本格的に目指す

7. 将来の夢への第一歩を踏み出す準備

- ・アントレプレナーシップ教育、キャリア支援（イベント、個人相談）
- ・同窓会主催学内合同企業説明会（K-meet）



今まで培ってきた力（専門力、教養力、人間力・・・）を、
学修・研究を通じてさらに磨き
「社会への第一歩」に
結びつけていく！

大学院時代は、学修、研究に集中しながら、同時に、「今まで培った力をどこでどう活かしてこの先、生きていくのか」を本格的に考える時期です。

2) 修士課程のカリキュラムと修了要件等

修士課程（専門職学位課程）に入学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- ・ 400～500番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、アントレプレナーシップ科目を中心に履修。

≪修了要件≫ **400～500番台から30単位以上**を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位以上（400番台）1単位以上（500番台）

アントレプレナーシップ科目：2単位以上（400～500番台）
（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：18単位以上

講究科目：4-8単位（各コースにより異なる）

※専門職学位課程：専門職大学院に2年以上在学し、40単位以上の修得、その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

◆その他

- ・ 学位は、修士（理学・工学・学術）、専門職（技術経営）
- ・ 標準修業年限は2年、在学年限は4年。休学は通算2年迄。
- ・ 特に優れた研究業績がある場合や、修士課程に入学する前に修得した大学院の単位を既修得単位認定した場合は、修士課程を短縮修了できる可能性あり。

3) 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ 学修案内等一覧 ≫ 大学院学修案内

◆カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- ・ 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、アントレプレナーシップ科目を中心に履修。

≪修了要件≫ **600番台から24単位**以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

→ 修了後、学位取得

文系教養科目： **2** 単位以上

アントレプレナーシップ科目： **4** 単位以上

(指定するGAを満たすこと)

専門科目等 ： **6** 単位（コースによっては専門科目 6 単位）

講究科目 ： **12** 単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- ・ 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

◆その他

- ・ 学位は、博士（理学・工学・技術経営・学術）
- ・ 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- ・ 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程＋博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。
（参考：学士課程3年で早期卒業＋大学院課程 3 年で短縮修了 可能）

4) 修士課程から博士後期課程への進学

学内からの進学

※大学院進学関係事務日程

<https://www.titech.ac.jp/student/students/procedures/applying>

検定料：なし 入学料：なし



(4月進学)

11月上旬：進学願書配布開始

@ 【大岡山】 教務課大学院グループ窓口

@ 【すずかけ台】 教務課すずかけ台教務グループ窓口

12月上旬：進学願書提出締切

12月～2月：進学試験実施

内容は志望先による。

※外国語試験についても志望先によって異なるため大学院学修案内を参照のこと。

3月中旬：進学者決定

4. 副専門学修プログラム・特別専門学 修プログラム

データサイエンス・AI全学学修教育
プログラム

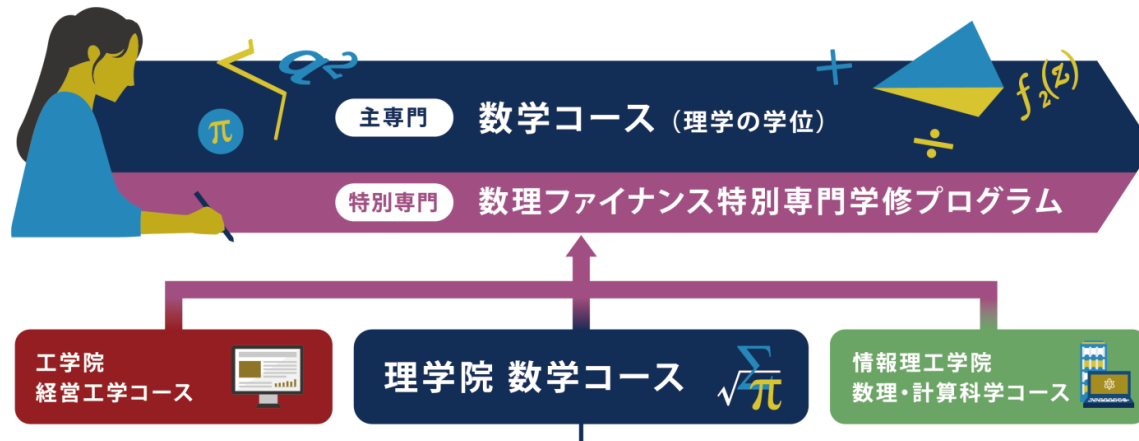
1) 副専門学修プログラム・特別専門学修プログラム

- 所属コースの専門分野の他に「副専門」「特別専門」として、他の分野を体系的に学修し、専門の幅を広げることが可能です。

・副専門学修プログラム（例）



・特別専門学修プログラム（例）

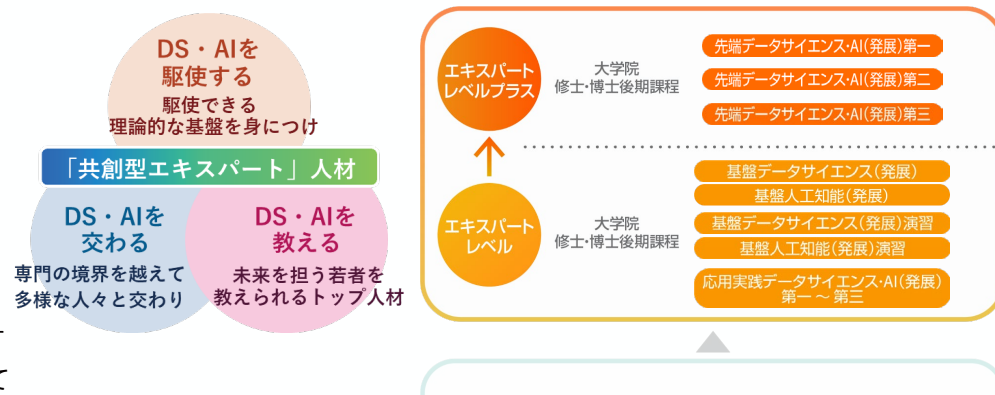


「数学の科目（主専門と同一）」と数学コースが「数理ファイナンスのために開講する科目」を履修します。

2) データサイエンス・AI 全学教育プログラム

DX（デジタル・トランスフォーメーション）が急速に進む現代社会において、データサイエンス・AIは、社会生活・産業・研究開発などあらゆる分野において、必要不可欠な知識・技術です。本大学は、理工系総合大学である特徴を活かし、**所属する学院の専門分野に依らず**、①DS・AIを駆使し②DS・AIで交わり③DS・AIを教えることのできる「**共創型エキスパート人材**」の育成を目指す**全学教育プログラム**を実施しています。

エキスパートレベル及びエキスパートレベルプラスへの登録は申請が必要となります。DS・AIで社会に価値を生み出す「**共創型エキスパート人材**」を目指す方は、下記URLより奮ってご参加ください。<https://www.dsai.titech.ac.jp/program/>



エキスパートレベル 科目構成

基盤系科目

基盤DS（発展）
基盤AI（発展） 各1単位

基盤DS（発展）演習
基盤AI（発展）演習 各1単位

応用実践系科目

応用実践DS・AI（発展）
第一～第三 各1単位

- 基盤系の講義科目【基盤DS（発展）・基盤AI（発展）】から2単位及び基盤DS・AI（発展）演習科目＋応用実践系（発展）科目から2単位を取得
- 基盤系科目では、DS・AIの理論的基盤を修得し、応用実践系科目では、45社の企業との連携を通して、DS・AI技術を用いた社会的課題解決を学ぶ。

プログラム修了者には、オープンバッジを授与



エキスパートレベルプラス 科目構成

先端DS・AI（発展）第一 1単位

基盤AIで修得した知識に加え、さらに高度で最新のAIの理論と技術を深く学ぶ。

先端DS・AI（発展）第三 1単位

DS・AI分野で活躍するリーダーに必要な法的・倫理的・社会的課題や、その解決技術を学ぶ。

先端DS・AI（発展）第二 1単位

基盤DSで修得した知識に含まれない、重要なDSの理論と技術を広く学ぶ。

- 2024年4月開始
- 先端系科目3単位を取得
- 理論と倫理の双方に重点を置く

プログラム修了者には、オープンバッジを授与



データサイエンス・AI全学教育機構

<https://www.dsai.titech.ac.jp/>



5. リベラルアーツ教育 (文系教養科目)

1) リベラルアーツ教育（文系教養科目）

「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦糸と、
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横糸で、
未来を紡ぎます。



リベラルアーツ研究教育院は**21世紀社会**の時代的課題を把握し、その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く追究する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。



リベラルアーツ教育の3つの特徴

① 「志」と主体的な学びのストーリー

豊かな社会性・人間性をもって専門的な知を実社会で活かしていくことのできる、志ある人材を育成します。学生は、自分の志に即して科目を選び、学びを主体的にデザインします。

② 教養コア学修科目

教養コア学修科目は、教養教育の柱となるユニークな科目。学士課程入学直後から博士課程まで続きます。「立志プロジェクト」「教養卒論」「リーダーシップ道場」「越境型教養科目」などがあります。

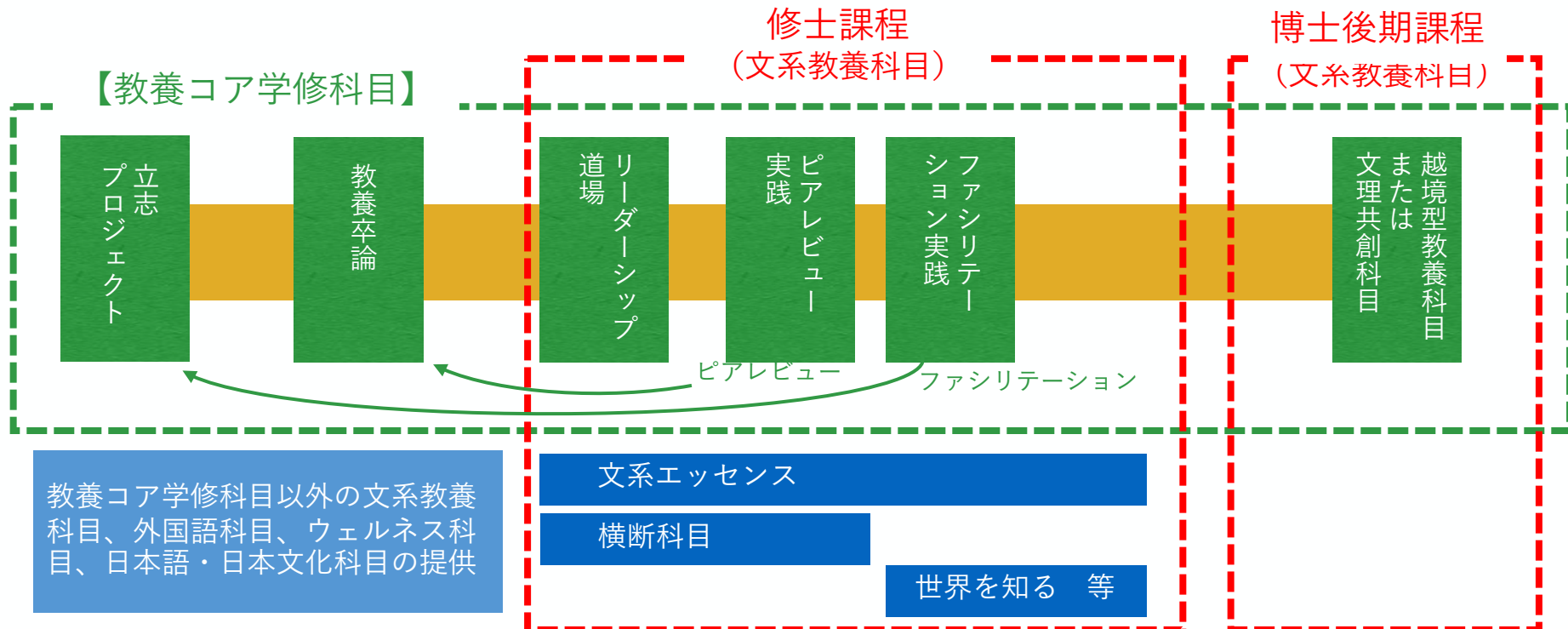
③ 教え合い・学び合い

同じクラスの仲間や下級生と、教え合い、学び合うグループワークの機会が多数あります。リーダーシップやファシリテーションスキルを磨きます。

◆文系教養科目（リベラルアーツ研究教育院が提供する教養科目）

現実社会に起こっている問題で、ひとつの学問領域だけの力で解決できる問題はありません。どんな高度な専門知識も、それを実社会で生かすためには、他者と関わりながらプロジェクトをすすめていくリーダーシップや、諸学問全体の見取り図の中での自分の専門分野の位置を理解する俯瞰力、世界のさまざまな地域の文化的社会的背景に対する知識が必要です。

文系教養科目は、以下のようないくつかの科目のカテゴリーに分かれています。一つのカテゴリーの中に、内容の異なる科目がひとつないし複数用意されています。



<修士課程における教養コア学修科目>

リーダーシップ道場

仲間の能力を最大限活かしながら目標に向かってチームを導くリーダーシップ力を身につけます。

所定の成績で合格した学生は、身につけた能力を活かしてさらにスキルを高めるための実践科目が用意されています。

ピアレビュー実践

論文執筆の支援を通じて、アカデミック・ライティングの基礎知識を学ぶとともに、対話によって書き手の考えを引き出すスキルを身につけます。

「教養卒論」の執筆をサポート

ファシリテーション実践

ファシリテーションの経験を通して、個性を重視しチームとしての力を発揮する「支援型リーダーシップ」を実践します。

「立志プロジェクト」でのグループワークをファシリテート

<博士後期課程における教養コア学修科目>

越境型教養科目

先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、多様なバックグラウンドを持つ異分野の研究者と協力して課題解決の提案を行います。博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造します。

文理共創科目

各分野の第一線で活躍するゲストを招き、ゲストによる研究発表とディスカッション、履修生によるグループワークを行います。コンバージェンス・サイエンスの新たな展開と可能性を模索します。

専門分野や文化的背景の異なる学生間でのコミュニケーション能力の確立
リーダーシップ・学際性・情報発信能力の涵養、社会における役割の自覚

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程①）

文系教養科目の科目コードは「LAH」から始まります。

文系教養科目には、教養コア学修科目とそれ以外の科目があります。

➤ 修了要件

修士課程：400番台の科目を2単位以上、500番台の科目を1単位以上

※「教養コア学修科目」または「教養コア学修科目以外の科目」だけで合計3単位修得しても、両者を組み合わせて修得しても、どちらでも構いません（すべて1単位）。

➤ 履修の進め方（番台順）

本学では、学士から博士後期課程まで継続的に教養科目を履修する「くさび型教育」を実践しています。番台順に履修することが推奨されており、**修士課程入学直後の学期（4月入学者であれば1・2Q、10月入学者であれば3・4Q）に履修申告できる文系教養科目は400番台のみです。**

500番台文系教養科目は、入学後半年してから（4月入学者であれば3・4Q、10月入学者であれば翌年1・2Qから）履修可能となります。

➤ 教養コア学修科目

- 400番台：「リーダーシップ道場」（1Q～4Q開講）
- 400番台：「ピアレビュー実践」（3・4Q開講）
- 500番台：「ファシリテーション実践」（1Q開講）

「ピアレビュー実践」「ファシリテーション実践」を履修するためには、「リーダーシップ道場」を履修し、80点以上の成績を修める必要があります。

➤ 教養コア学修科目以外

「文系エッセンス」（文学、政治学など）、「横断科目」（様々な専門の先生のコラボ）、「世界を知る」（世界の文化、宗教など地域スタディ）など。すべてのクォーターで開講しています。

変更される場合もありますので、常にシラバスや「文系教養科目案内」サイトなどで、最新情報を確認して下さい。

◆ 文系教養科目の履修上の注意（修士課程②）

➤ 履修予約

- 修士課程文系教養科目は、「履修予約」制度を設けています。通常の履修申告期間に先立ち、履修希望を受け付けし、履修許可科目を決定する制度です。それぞれの科目の特性に応じて設定された受講人数で、できるだけ多くの皆さんの希望に沿った科目を履修してもらうためのもので、年に2回（1・2Qの前、3・4Qの前）実施しています。
- 履修希望の回答手続きは教務Webシステム上で行います。履修予約期間終了後、希望者多数の科目については抽選を行った上で、履修許可者を決定します。履修予約時に抽選になる科目も多くあります。履修の際には、履修予約で許可された学生が優先されますので、必ず履修予約を行ってください。

ただし、入学直後の今年度3・4Q文系教養科目については、10月入学の皆さんには10月入学者用の枠を設けていますので、履修予約する必要はありません。通常の履修申告を行ってください。10月入学者枠が定員超過しない限り、履修することが出来ます。来年度1・2Q分からは、履修予約制度を利用しながら履修を進めてください。

履修予約実施の案内はメールでお知らせします。大学から与えられているメールアドレス宛に送信される、大学からのメールは必ず確認してください。※送信されたメールは、教務Webシステムトップ画面の「お知らせ」欄でも確認できます。

➤ 修了要件

博士後期課程：600番台の科目を2単位以上

□ 「越境型教養科目」（すべて英語開講、1科目2単位）

- 2Qおよび4Qに開講します。同一内容ですのでいずれかのQで履修してください。ZOOMによるライブ授業（5回）とオンデマンド授業（2回）で構成されます。
- ライブ授業は、おおよそ隔週土曜日（1～4限）に、ZOOMを使って実施されます。
シラバスで開講日を確認し、必ず全回出席できるクォーターを選んで履修申告してください。体調不良等、やむを得ない欠席の扱いについてはシラバスで詳細を確認してください。

□ 「文理共創科目」（1科目2単位） ※1単位の科目は、2022年度以降の入学者は履修できません。

- 1Q～4Qに開講します。学外の講師を招いての研究会形式で開催されるため、開講日程や時間帯が変則的な形で設定されている場合があります。
シラバスで開講日時や履修条件について、必ず事前に確認してください。

➤ 履修人数制限について（「越境型教養科目」「文理共創科目」共通）

- 履修希望者数が定員を超える場合は、教務Webシステム上の履修申告状況に基づいて人数制限（抽選）を行います。**人数制限（抽選）は「初回授業の実施日より前」の所定の時期に実施されます。各科目のシラバスに記載された期日までに、必ず履修申告を行ってください。**
- 大学からの重要なお知らせは大学から与えられているアドレス宛に送信されます（人数制限が行われた際の結果のお知らせなども、このアドレスを通じて連絡が届きます）。各自早めにメールアドレスの設定をしておいてください。

【問合せ先】 リベラルアーツ研究教育院（修士課程・博士後期課程共通）

■ 文系教養科目

bunkei@jim.titech.ac.jp

■ 教養コア学修科目

core.jimu@ila.titech.ac.jp

「文系教養科目案内サイト」 <https://bunkei.ila.titech.ac.jp/>



2) 日本語・日本文化科目

日本国内の大学（本学を含む）の学部を卒業した学生等、開講科目よりも日本語能力が高い学生は、受講することができません。

- ・ 日本語を学ぶ留学生のための科目です。大学院日本語科目には初級から上級（前半）までのクラスがあります。
- ・ 日本語・日本文化科目の単位を取得することで、文系教養科目の単位とみなすことができます。博士後期課程も対象となります。
- ・ 技能別のクラスでは、会話、漢字、ライティング、キャリア対策なども学べます。
- ・ 履修する場合は、以下のURLから日本語・日本文化科目のウェブページにアクセスし、必要な手続きを行ってください。

Japanese Language and Culture Courses for Graduate Students						
Basic		Pre-Inter	Intermediate			Pre-Advanced
B1, B2	B3, B4	I1, I2	I3, I4	I5, I6	I7, I8	U1 ~ U8
REGULAR COURSE						
400Lv	400Lv	400Lv	400Lv	500Lv	500Lv	
Basic Japanese 1,2	Basic Japanese 3,4	Intermediate Japanese 1,2	Intermediate Japanese 3,4	Intermediate Japanese 5,6	Intermediate Japanese 7,8	
SPECIFIC SKILL COURSE 400Lv						
Japanese conversation		Pre-inter. 1,2				
		Inter. 1,2	Inter. 3,4			
Japanese kanji		Basic 1-4				
		Inter. 1,2				
		Inter. 3,4				
Japanese seminar				3~6, 9/10	1~10	1/2, 7/8
JAPANESE CULTURE COURSE 500Lv						
1: Strategic approach to Japanese and culture		2: Strategic approach to Japanese and culture				3/4: Multi- cultural collaboration
Japanese culture and language 1, 2, 3, 4 (for registration only) 600Lv						



http://js.ila.titech.ac.jp/~web/japanese_j.htm

!

3) ライティングセンター

website



文章作成の相談相手，ここにいます！

- 場 所： 大岡山キャンパス TAKI Plaza 地下 1 階
- セッション： 対面50分, オンライン40分
- 対応言語&文章： 日本語，英語どちらも可

例) 英語で書いた文書を日本語で相談する（詳細はwebで）

Q 「ライティングセンター」は何をするところ・・・？

A アカデミック・ライティングの訓練を受けたチューター（大学院生）が、書き手のあなたと対話を通じて文章の改善を目指す教育機関です。

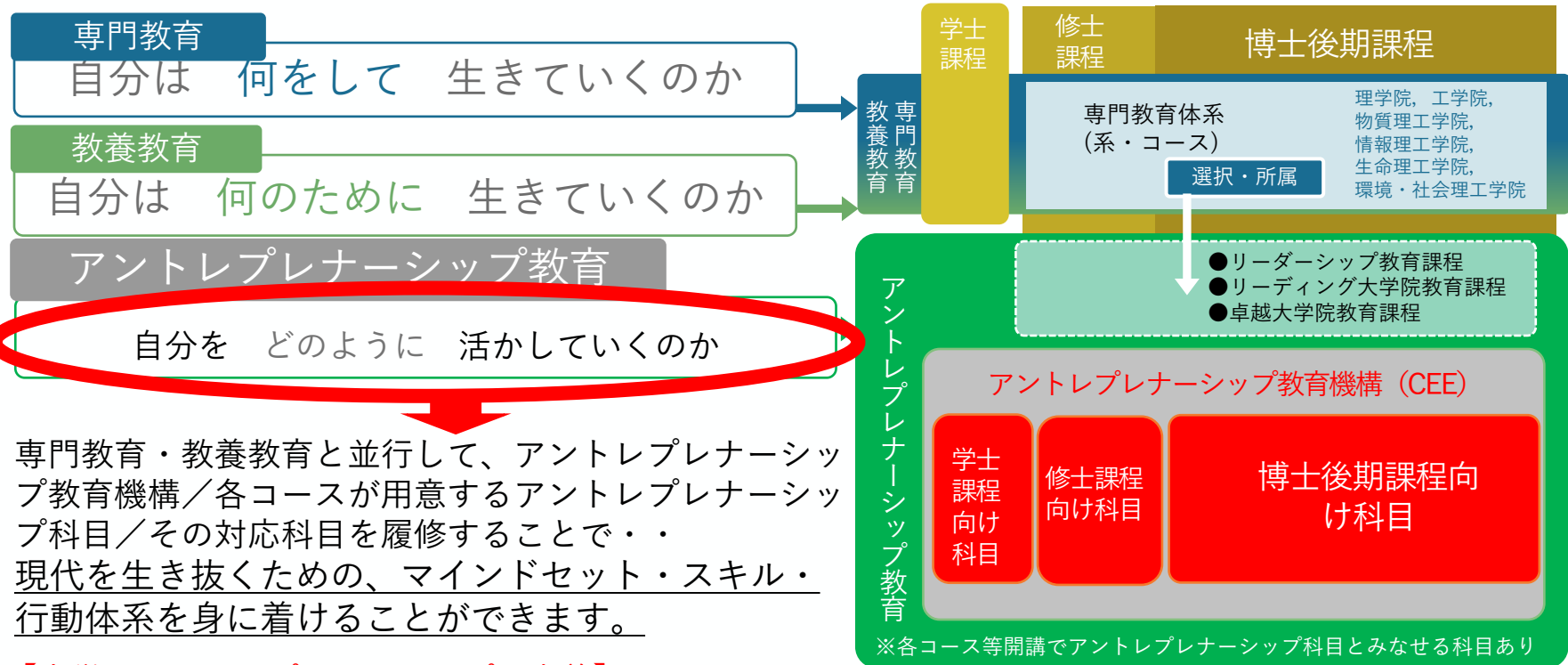
Q どんな文章を見してくれるの？

A 講義レポートや各種論文・留学志望書など、アカデミックなものであれば誰でもどんな文章でも，どの段階でも相談できます！ぜひWebサイトよりご予約ください！

6.アントレプレナーシップ教育

1) アントレプレナーシップ教育

卓越した理工系の専門能力を身につけ、それを社会へつなげていくために



【本学のアントレプレナーシップの定義】

「VUCA の時代」 (※) の国際社会を生き抜くためには、専門能力とともに、「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系(マインドセット・スキル)」が素養として必要であるとされており、そのような自主性に基づいた行動体系を本学では「アントレプレナーシップ」と定義しています。アントレプレナーシップは、コンピュータでいうOSのようなもの、学生の将来の進路に関わらず必要とされている行動体系です。

※現代は、科学・技術の急速な進展により、グローバル化、地球環境、安全保障などの問題が複雑に絡み合い、予測困難な状況にあることから、「VUCAの時代(Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性)」と呼ばれています。

本学では、アントレプレナーシップ教育を実施していくうえで、学生に身につけてもらいたい「必要な要素」を、以下の5つに分類しております。

先見性 国際性 リーダーシップ 価値創造 キャリア構築

先見性	リーダーシップ
科学技術を基盤としてより良い社会の将来像を明確に描くことができる力。	隠れた思い込みの自覚に努め、多様性を尊重しつつ、自らの評価軸をもとにした主体的意見を表明し、さまざまなステークホルダー間の合意形成を図ることができるリーダーシップと求心力。
国際性	価値創造
グローバルな課題の本質や、自身とのつながりを理解し、情報収集、分析、考察等を経た上で、解決のための提案ができる力、さらに、自身と異なる背景（文化、慣習、母語等）や価値観をもつ個人に対し、または集団の場において、他者に配慮し、相互理解を深めたうえで協働できる力。	自らの専門における本質的課題の洞察をもとに、解決策の提案・実行・複数視点からの検証等のプロセスを繰り返すことで新たな価値を生み出す創造力、および、その蓋然性を向上させて実社会に結実させる展開力と、目的意識をもって成し遂げる実行力。
	キャリア構築
	自分の将来に参考となるロールモデルを見出だす力や自分の将来のキャリアを構築する力。業界・企業分析、組織の財務会計、法律・標準等のルール、起業、倫理、SDGs等社会人として活躍するために必要不可欠な基礎的知識、さらに自己理解・自己PR、コミュニケーション、思考法、文書作成力、アジェンダ設定力、リーダーシップ等のスキル。

● アントレプレナーシップ教育コア（修士課程）

➤ 履修単位とGA（Graduate Attributes）

- 修士課程修了要件として、アントレプレナーシップ教育機構（CEE）や所属コースが開講するアントレプレナーシップ科目のなかから**2単位以上**履修する必要があります。
- それぞれのアントレプレナーシップ科目に下記の**GAが設定されています（科目によってどちらか片方のGAの場合、両方の場合、どのGAもつかない場合があります）**。
- 履修するアントレプレナーシップ科目の2単位は、**2つのGAをいずれも満たす**必要があります。（両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります。GAがつかないアントレプレナーシップ科目は、アントレプレナーシップ科目の単位には換算されても、GAは取得できません。）
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースに、社会人学生のための科目もあります。必要に応じて指導教員とご相談ください。

➤ 修士課程GA

【GA0M】自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる

【GA1M】自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理、アントレプレナーシップ等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる

➤ 履修スケジュール

- 全クォーターの講義を確認した上で、修士課程修了までの2年間で2GAを満たすように2単位を履修するスケジュールを考え、履修登録してください。
- GAについて履修する順番はありません。（GA1Mを先に履修しても構いません。）
- 修士課程スタート時に集中して講義を履修するよりも、**2年間の計画**として研究と講義のバランスを考えて履修する方が効果的に研究・学修ができます。

➤ 単位

- 博士後期課程修了要件として、アントレプレナーシップ教育機構（CEE）や所属コースが開講するアントレプレナーシップ科目のなかから**4単位以上**履修する必要があります。
- それぞれのアントレプレナーシップ科目に、下記の**GA（Graduate Attributes）**が設定されています（科目によってどちらか片方のGAの場合、両方の場合、どのGAもつかない場合があります）。
- 履修するアントレプレナーシップ科目の4単位は、**2つのGAをいずれも満たす**必要があります。両方のGAが設定されている科目は、当該科目の単位取得により、両方のGAを満たしたことになります。また、GAがつかないアントレプレナーシップ科目は、アントレプレナーシップ科目の単位には換算されても、GAは取得できません。
- 修了要件については、必ず所属コースの学修案内などの規定に従ってください。
- 各コースには、社会人学生のために開講されている科目もありますので、必要に応じて指導教員と相談してください。

➤ 博士後期課程GA

【GA0D】自らのキャリアを明確にデザインし、アカデミア・産業界の構成員として活躍するための知識・スキル、社会的責任、倫理等を包括的に理解して、イノベーション実現に貢献できる

【GA1D】自らがデザインしたキャリアを実現するために必要な高度なリーダーシップ、アントレプレナーシップ、知識・スキル、社会的責任、倫理等を身に着けることで、イノベーションの実現を主導できる

➤ 履修スケジュール

- 1年次最初の段階ではGA0D科目を履修し、別のクォーターでGA1Dが含まれる科目を履修することが望ましいです。
- DC（特別研究員）申請書作成実習を行うアントレプレナーシップ科目を年4回（各クォーターごと）開講しています。意欲のある方は、履修してください。

アントレプレナーシップ科目を履修するまでの手順（修士課程・博士課程共通）

※CEE開講のアントレプレナーシップ科目の科目コードは「ENT」で始まります。

1. 所属するコース等でのアントレプレナーシップ科目についての修了要件を確認

「大学院学修案内」より、「各コース等学修課程」で所属コース等の修了要件を確認

https://www.titech.ac.jp/guide/guide_2024/graduate/

2. どのようなアントレプレナーシップ科目が開講されているかを確認

- CEEが開講するアントレプレナーシップ科目は、上記「大学院学修案内」の「教養科目群履修案内」のアントレプレナーシップ科目で確認できる。
- 所属コース等が開講するアントレプレナーシップ科目は、上記「大学院学修案内」の「各コース等学修課程」の所属コース等で確認する。
- 各科目の講義内容、担当教員、日程などはシラバスを参照する。シラバスは、OCW（<http://www.ocw.titech.ac.jp/>）トップページで「講義検索」を行い、該当ページを探す。

3. 履修する科目を決めて履修申告

本学ポータルにログインし、メニューから「教務Webシステム」を選択。履修科目を登録。

アントレプレナーシップ科目に関する問い合わせ先（修士課程・博士後期課程共通）

アントレプレナーシップ教育機構（CEE）



<https://www.cee.titech.ac.jp>
cee.info@jim.titech.ac.jp

大学院課程入学者向けにアントレプレナーシップ科目概要や履修方法等を説明する**オリエンテーション**を、以下の日程にオンラインで実施します。

資料や録画は、**10**月以降、上記**CEE**サイトで公開します。

修士課程（日本語）9/30（月）11:30～

修士課程（英語）9/30（月）13:30～

博士後期課程（日本語）10/1（火）11:30～

博士後期課程（英語）10/1（火）13:00～

<**Zoom URL**（各回共通）>

<https://zoom.us/j/93036476617?pwd=H7fifJ6j6eDSdXwAZkHNt9ePbGY9Pb.1>

ミーティング ID: 930 3647 6617
パスコード: Yvap03

2) 発展的なアントレプレナーシップ教育

本学のアントレプレナーシップ教育には、必修である「アントレプレナーシップ教育コア」に加えて、**2024年9月**時点で以下2つの発展的な教育オプション（希望者のみ参加）があります。

➤ グローバル教育オプション（GEO）（修士課程）

本学のアントレプレナーシップ教育のうち特に「国際性」を伸ばしたい学生は、本オプションの修了条件として、**修士課程修了まで**アントレプレナーシップ教育コア（修士課程）でのGAを満たした2単位を履修するとともに、本オプションで5単位以上を取得することで、留学や外国語コミュニケーション力を向上させられます。

詳細はサイトをご覧ください：<https://www.cee.titech.ac.jp>



以下日時のアントレプレナーシップ科目説明会で、GEOの説明もします。

詳細は上記サイト参照：

修士課程対象（日本語）9/30（月）11:30～

（英語） 9/30（月）13:30～

➤ アントレプレナーシップ教育プラス（博士後期課程）

博士後期課程に所属後、必修であるアントレプレナーシップ教育コア（博士後期課程）の4単位に加え、アントレプレナーシップ科目及びアントレプレナーシップ科目対応科目の中から2単位以上を取得した場合には、「アントレプレナーシップ教育プラス（博士後期課程）」の履修証明書を発行します。

詳細はサイトをご覧ください：<https://www.cee.titech.ac.jp>

7. 学位プログラムとして 特別に設けられた教育課程

- 1) リーダーシップ教育課程
- 2) 物質・卓越教育課程
- 3) 超スマート社会卓越教育課程
- 4) エネルギー・情報卓越教育課程

1) リーダーシップ教育課程



リーダーシップ・エクセレンス教育
一人ひとりの中に、
リーダーシップという可能性がある。

学院の枠を超えて、精鋭たちが互いの視野を広げて学び合い、世界に通用する本物のリーダーシップを手にしていく場。

- ・ 歴史や世界の中で自己を認識し、内発的動機をみつけることができる
- ・ 自己と他者の違いを受け入れ、共に尊重し、よりよい社会のために協働できる
- ・ 常に挑戦する心を持ち、思った通りにならなくても、創造的に楽しむことができる

選択したコースにおける専門課程



卓越した専門力

博士（専門分野）
の学位

+

リーダーシップ
教育課程修了



リーダーシップ力

※リーダーシップ教育院が実施する修了審査に合格した上で、在籍する学院の学位審査・最終試験に合格すると、博士の学位とともにリーダーシップ教育課程の修了が認定され、学位記に付記されます。なお、博士の学位が認定されない場合は、リーダーシップ教育課程のみの修了は認められません。

カリキュラムの概要

説明会開催

10月8日（火） 17：30 – 18：30

（英語開催/大岡山キャンパスおよびオンライン）

10月10日（木） 17：30 – 18：30

（日本語開催/すずかけ台キャンパスおよびオンライン）

※ 本教育院ウェブサイトで最新情報をご確認下さい。

修士課程から博士後期課程までの一貫教育を通じて、自らが専攻する分野における卓越した専門能力の獲得と並行して、将来の国際社会を牽引できるリーダーシップを備えた人材としての能力を養成するため、以下のとおり、5つの科目分類を設けて、体系的に能力の涵養を図ります。

必要単位数

01 幅広い教養

専門分野にとらわれない好奇心、他者との信頼関係の礎となる人格を磨く

2

02 社会課題の認知

社会課題を把握し、解決に向けて自身の能力をどう活かすかを認識する

3

03 グローバルコミュニケーション

語学力・スキル双方のコミュニケーション能力を身に付ける

3

04 リーダーシップ・フォロワーシップ養成，合意形成

リーダーシップ・フォロワーシップの本質を理解し、合意形成力を磨く

4

05 オフキャンパスプロジェクト

自身の専門知識や能力を実社会で試し、さらに高める

4

博士後期課程学生に、授業料免除、オフキャンパスプロジェクト（海外・国内）実施費用の支援があります。（条件あり）

※学生募集は2025年度前学期までとなります

※2028年度以降の支援内容は未定・調整中

修士課程までの履修でも登録できます。
所定の単位を得ると認定証「**Leadership Focus Certificate**」を授与します！

リーダーシップ教育課程に登録するには
選抜試験（書類選考・面接）への合格が求められます。



※詳細は...

リーダーシップ教育院（ToTAL）
<http://www.total.titech.ac.jp/>



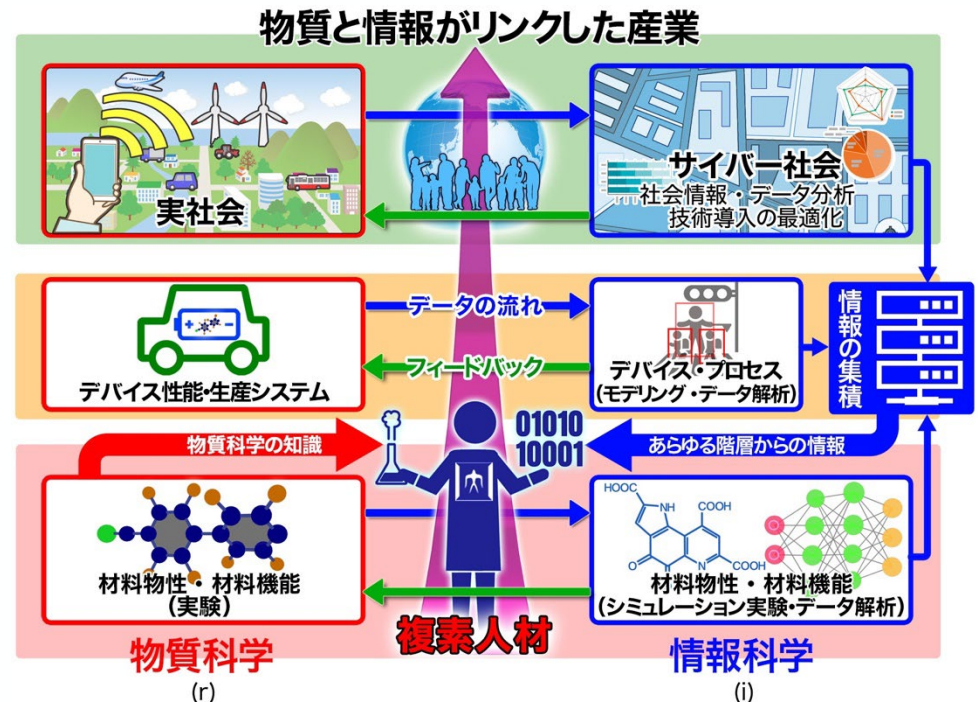
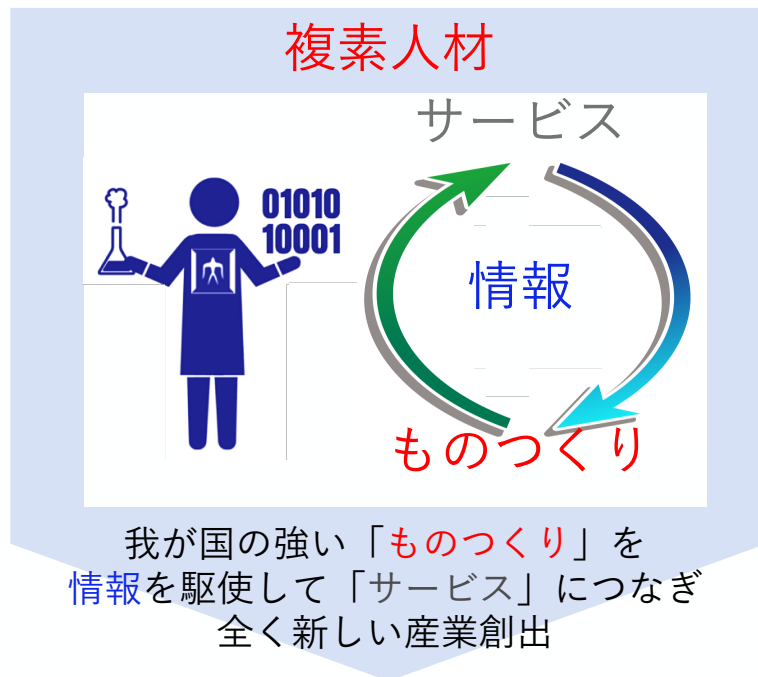
※上記の科目に加え、ToTAL中間審査までに「リーダーシップ道場」，「Introduction to Leadership」，「Global Leadership Practice」のいずれかを修得する必要があります。

2) 物質・卓越教育課程

① 教育課程の目的

修士博士一貫の大学院教育プログラムにより、物質と情報をリンクさせ、情報科学を駆使して複眼的・俯瞰的視点から発想することで、独創的な物質・情報研究を進める「複素人材」の育成を行います。

複素人材とは、物質科学、情報科学、そして社会サービスまで、すなわち「複素空間」で縦横無尽に活躍できる人材です。ここで言う「物質」とは、実社会における「モノ」を指し、単に化学・材料としての化合物にとどまらず、デバイス・プロセスも包含します。



「物質×情報」の知のプロフェッショナルを育成

② 教育課程の概要

複素人材が持つべき能力の涵養を目指して、以下の施策①-⑫を実施します。

(1) 独創力

- ① 演習重視の物質・情報講義
- ② 物質情報異分野特定課題研究（ラボ・ローテーション）
- ③ 自主設定論文による複素的な独創性教育

(2) 俯瞰力

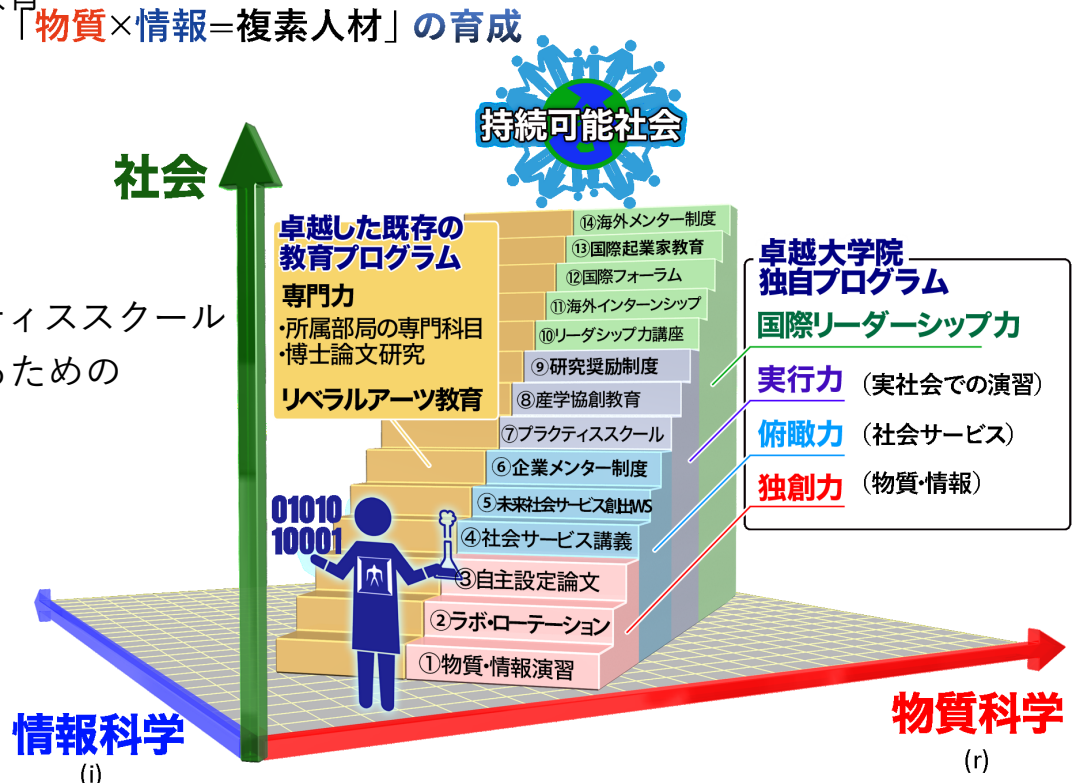
- ④ 社会サービス創出講義
- ⑤ 未来社会サービス創出ワークショップ
- ⑥ 企業メンター制度

(3) 実行力

- ⑦ 企業の最先端課題を解決するプラクティススクール
- ⑧ 問題発見、問題解決の実行力を高めるための研究奨励制度

(4) 国際リーダーシップ力

- ⑨ リーダーシップ力涵養教育
- ⑩ 海外インターンシップ
- ⑪ 物質・情報教育国際フォーラム
- ⑫ 海外メンター制度による国際性涵養



「複素人材として育った博士」は世界で活躍するための登竜門です。
本教育院の会員企業は、登録学生の成長に注目しています。
登録学生は会員企業との就職マッチングサービスを活用することもできます。

③ 学生への支援

物質・情報卓越教育院では、登録学生に生活費も含めた経済的支援を行い、研究や本教育院の活動に集中できる環境を整えます。

(1) 博士後期課程学生に対する経済的支援

- 本教育院博士後期課程に登録する学生に対し、**TAC-MI** 奨励金およびつばめ博士学生奨学金等により、最大**253**万円の経済支援があります。

(2) JSPS特別研究員(DC1, DC2)、国費留学生などへの経済的支援

- 各制度の経済支援に加えて、本教育院からも**RA**雇用による給与を支給します。

新複合系コース「物質・情報卓越コース」を新たに開設
2025年4月より学生の受け入れ開始

博士後期課程学生を対象とした複合系コースです。

物質・情報卓越教育院のカリキュラムや制度を引き継ぐ新しいコースです。

コースの学生は奨励金やRA制度による、経済的支援を受けることができます。

詳しくは、**物質・情報卓越教育院のホームページ**をご覧ください。

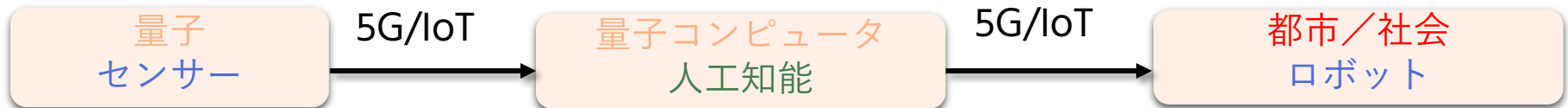


※物質・情報卓越教育院（教育課程）の登録学生募集は2023年度で終了しました。

https://www.tac-mi.titech.ac.jp/enrollment_gm/

3) 超スマート社会卓越教育課程

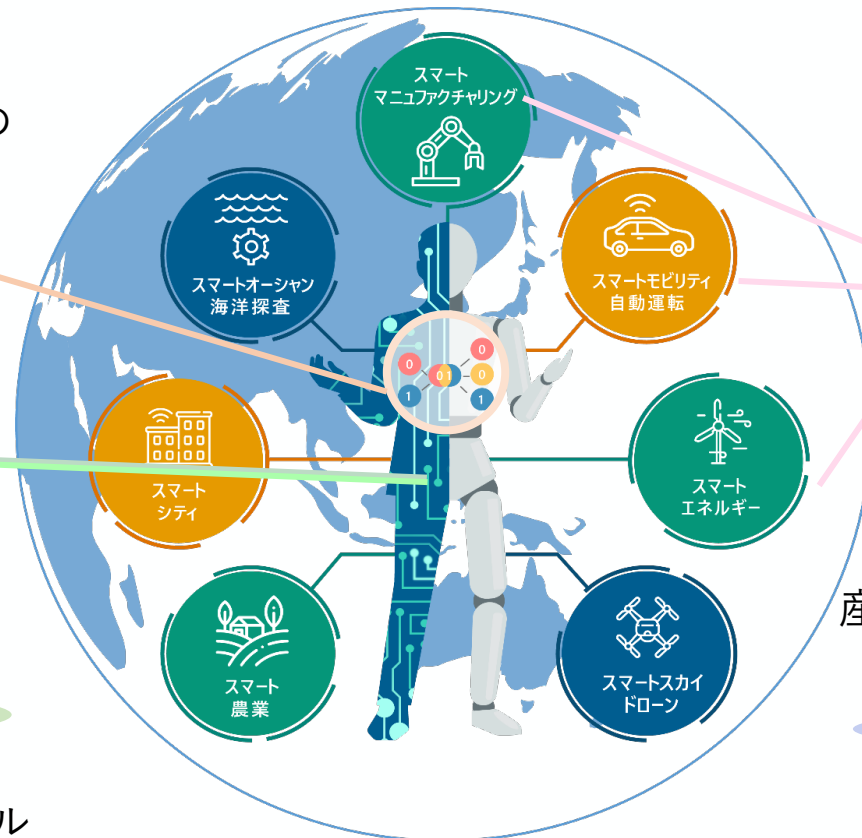
必須能力 = (サイバー空間技術 + フィジカル空間技術) × 量子科学



量子科学と人工知能の
基幹的学力

フィジカル空間・
サイバー空間にまたがる
専門分野で独創的な
科学技術を創出

量子科学から
超スマート社会まで
の道筋を俯瞰



異分野が融合した
社会課題の
解決能力

産官学の各セクターを
牽引できる
リーダーシップ力

▼公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCB6xyVu1TNB8xPSMt3v9VPQ>

社会連携教育（オープンエデュケーション）および 異分野融合研究（オープンイノベーション）の融合教育

SSS異分野融合マッチングワークショップ



企業や国研の方と意見交換することで
新たな視点やアイデアを得ることが
できます。これを契機に異分野間の共
同研究も生まれています。



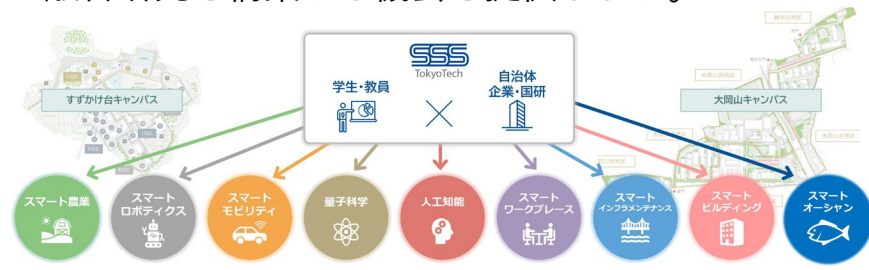
超スマート社会推進コンソーシアム
参画機関はこちら →



異分野融合研究企画集中演習



最先端の科学技術を結集した超スマート社会教育
研究フィールドを利用した演習を通して、異分野
融合研究を構築する機会を提供します。



“SSS卓越教育院で研究者としてのチャンスをつかむ”

2019年11月のマッチングワークショップに参加したところ**DENSO**との共同研究が実現しました。研究テーマはV2Iで、自動車とインフラをどのように通信でつなぐかを課題として、2020年4月から2年間実施しました。こうした研究の成果が認められて、**2022年4月**からソニーグループ株式会社で働いています。

Yin Yue 博士 (学術) (工学院電気電子系 阪口研究室)



“グローバルオフキャンパス研究プロジェクトで将来を切り開く”

2022年9月から、**WISE-SSS**のグローバルオフキャンパス研究プロジェクトで、米ウィスコンシン大学マディソン校に留学しました。修了後は、留学前からの希望通り、受け入れ先でポスドクとして研究を続けています。今後はさらに自分の専門力を向上させ、国際コミュニケーション能力やリーダーシップ能力も養っていききたいと思います。

野口 孝浩 博士 (工学) (工学院電気電子系 千葉研究室)

学生が経済的に自立し、勉学に集中できる環境を整えるための経済的支援制度があります。詳しくは超スマート社会卓越教育院Webサイトをご覧ください。

<https://www.wise-sss.titech.ac.jp/admissions/support/>

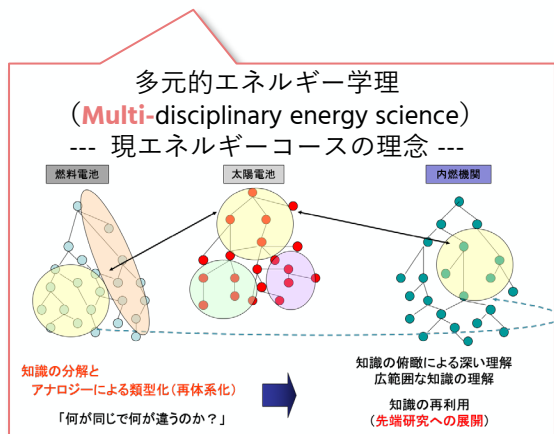
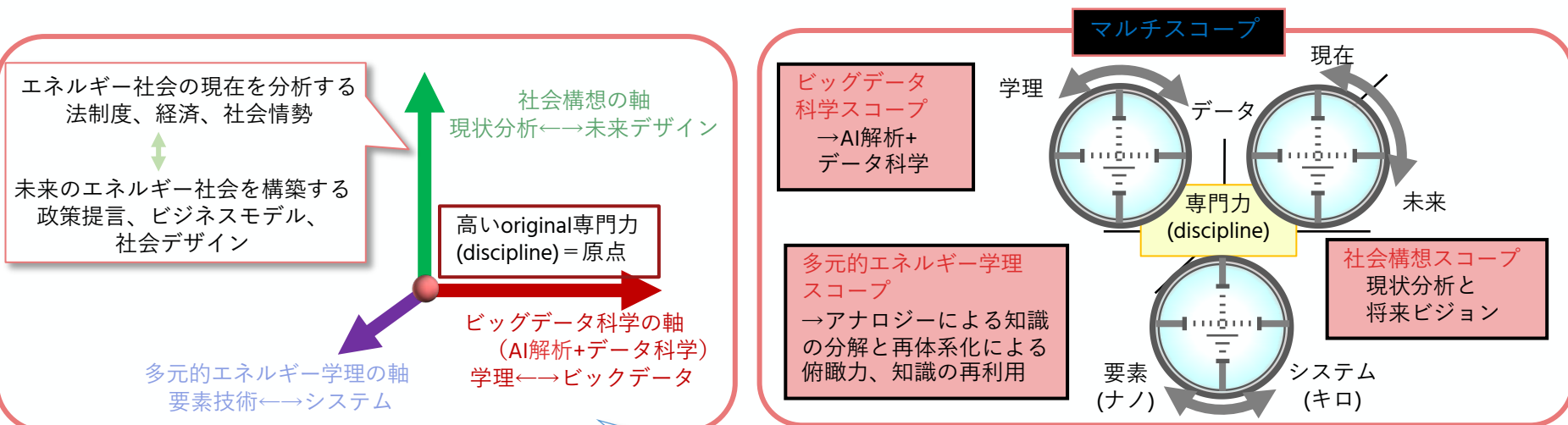


4) エネルギー・情報卓越教育課程

① 教育課程の目的

“マルチスコープ・エネルギー卓越人材”の育成

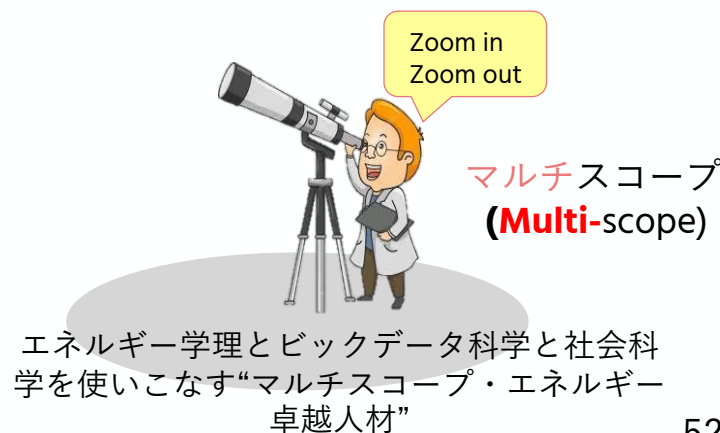
“ビッグデータ科学”（AI解析+データ科学）を活用した
マルチスコープで新しいサステナブルなエネルギー社会をデザインする人材



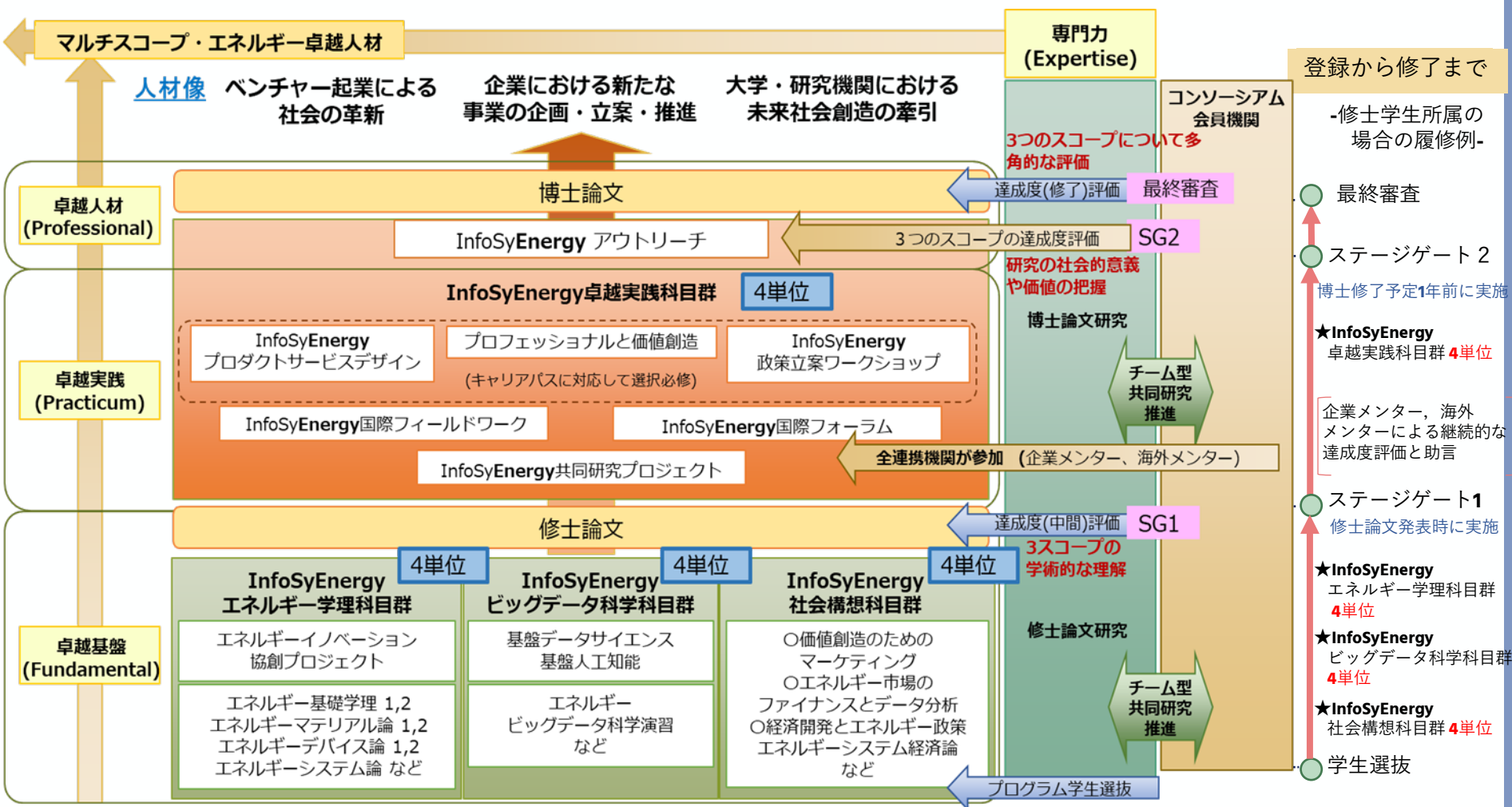
- ビッグデータの規則性から見出される学理
- 学理から理解されるビッグデータの規則性



エネルギー・情報卓越教育院
Academy of Energy and Informatics



② カリキュラム



③ 登録学生への経済的支援と学生選抜について

➤ 教育院学生への経済的支援

- 博士後期課程在学中、高い研究能力と将来性が認められた者に対して年間185万円を上限として支援を行います（奨励金）
（つばめ奨学金4万円/月、指導教員RA 20万円/年を含むと最大253万円/年）
- 「InfoSyEnergy研究/教育コンソーシアム」により推進される企業との共同研究への学生の研究参画と経済支援を行います
- InfoSyEnergy 国際フィールドワーク・InfoSyEnergy共同研究プロジェクト（国内外の留学・派遣、企業等のインターンシップ）における旅費の一部支援
- InfoSyEnergy共同研究インセンティブ助成制度
（自ら主体的に実施する独創的な研究活動に対し研究費を助成）
- InfoSyEnergy国際フォーラム参加費用（旅費等）の支援

➤ 学生選抜について

対象は修士課程在籍中に第3-4Q開講の「エネルギーイノベーション協創プロジェクト」での研究発表による審査（あるいは同等のポスター発表等）が可能な学生です。

教育院学生となるためには、下記の2段階の選抜を経る必要があります。2段階目の正規登録学生選抜は、1段階目で選抜された登録候補学生の中から選抜されます。

<2段階選抜>

- ①登録候補学生選抜、②正規登録学生選抜

※各選抜についての詳細はHPを必ずご確認ください



5) 各教育課程の説明会①

※本教育院ウェブサイトで最新情報をご確認下さい。

1. リーダーシップ教育課程：

年2回（前学期、後学期）登録者を募集します。（学生募集は2025年度前学期までとなります）
2024年度後学期（第4クォーター）の登録募集に関する説明会は**10月8日（火）**、
10月10日（木）を予定しています。

ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

<http://www.total.titech.ac.jp/briefing/>

E-mail : total.jim@total.titech.ac.jp



2. 物質・情報卓越教育課程

物質・情報卓越コース 進学説明会は**2024年12月に開催**する予定です。

ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

https://www.tac-mi.titech.ac.jp/enrollment_gm/

E-mail : tac-mi@jim.titech.ac.jp



各教育課程の説明会②

3. 超スマート社会卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録者を募集します（追加募集を行う場合もあります）。2025年度春期登録向け学生募集説明会は**2024年10月頃**を予定しています。ご興味のある方は、ウェブサイトをご確認の上、以下の問合せ先にご連絡ください。

<https://www.wise-sss.titech.ac.jp/>

E-mail: wise-sss@jim.titech.ac.jp



4. エネルギー・情報卓越教育課程

年2回（春期、秋期）登録候補学生を募集します。

（登録学生となる為の選抜は、登録候補学生の中からの選抜のみとなります）

学生募集説明会は**10月4日（金）**、**10月7日（月）**を予定しています。さらに、**10月下旬**には、より深く、ご質問にお答えすることに重きを置いた「Q&Aセッション」を開催致します。事前登録が必要です。詳細は、ウェブサイトをご確認下さい。

<https://www.infosyenergy.titech.ac.jp/Academy/>

E-mail : management_office@infosyenergy.titech.ac.jp



8. 経済支援

1) 経済的支援

1. TA・RA制度

<http://www.jinjika.jim.titech.ac.jp/syoku/index.html>



RA（リサーチアシスタント） ……研究実験の補助など、研究にかかわる業務補助を行う学生

TA（ティーチングアシスタント）…教育や授業の補助・準備など、教育にかかわる業務補助を行う学生

※大学から時間単価の給与を受け取ることができます。ただし勤務時間に上限あり。

2. 入学料・授業料の徴収猶予・免除

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/exemptions>



課程	入学料	授業料(半期)	授業料(年間)
修士・博士後期課程 (2019年9月以降の入学者)	282,000円	317,700円	635,400円

入学料：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。

※ 経済的理由によって納付が困難であり、かつ学業成績等が優秀と認められる者。
(修士課程及び専門職学位課程から博士後期課程に学内進学する者は入学料なし)

※ 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた者

授業料：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。

※ 上記条件と同様

詳細はホームページ
をご確認ください

3. 奨学金

(1) 日本学生支援機構（JASSO）

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso>



日本人学生、永住者等の外国人学生を対象とした、本学の約2割の学生が利用している我が国最大の貸与奨学金です。

第一種奨学金は無利子、第二種奨学金は有利子となっています。

種類		貸与月額
第一種奨学金 （無利子）	修士	5万円、8.8万円から選択
	博士	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金（有利子）		5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

(2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/financial-aid>



大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。地方公共団体の奨学金は、主に貸与奨学金（返還必要・無利子）であり、民間財団の奨学金は、給付奨学金（返還不要）と貸与奨学金（返還必要・多くが無利子）の2種類に分かれます。

(3) 私費外国人留学生用奨学金

<https://www.titech.ac.jp/students/tuition/scholarships>

民間の財団等での奨学金があります。



(4) 東京科学大学基金奨学金（理工学系）

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/giving-scholarships>



1) 『青木朗記念奨学金』

対象：修士課程1年次の者（4月現在） ※所得条件あり

採用予定人数：3名 奨学金の額：月額5万円

2) 『高砂熱学工業創立100周年記念奨学金』

対象：修士課程1年次の者（4月現在） 革新的環境イノベーションに挑戦し、
新しい価値創造・社会貢献をしようとしている者

採用予定人数：2名 奨学金の額：月額5万円

3) 『AirTrunk奨学金』

対象：修士課程1年次の女子学生（4月現在） ※所得条件等あり

採用予定人数：2名 奨学金の額：月額5万円

(5) 東京科学大学 つばめ博士学生奨学金

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/tsubame-scholarship>



対象：学院に所属する博士後期課程の者（2024年度現在） ※条件あり

奨学金の額：年額48万円

（2年次以降 年額48万円又は年額63.54万円）

制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金（月額20万円）を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、申請書と併せて提出する研究計画調書に基づき、採用期間中、最大450万円の研究費を受給できます。採択率は過去3年平均20～25%程度です。

対象者・・・各採用年度の4月1日時点で大学院博士課程に在学している者
（予定含む）です。

応募時期・・・採用年度の1年前の3～6月ごろです。
2025年2月中旬から募集が始まるのは、
2026年度採用分（2026.4.1採用開始）です。

応募区分

DC1

採用開始時*、博士課程後期第1年次相当（在学月数12ヶ月未満）
に在学する者

DC2

採用開始時*、博士課程後期2年次以上の年次相当（在学月数
12ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者

*2026年度採用の場合、2026.4.1現在

- ≫ 審査区分 . . . 申請する資格（DC1またはDC2）毎に審査
- ≫ 採用期間 . . . DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

● 研究奨励金と特別研究員奨励費

研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。

DC1、DC2ともに月額**20万円**が支給されます。研究奨励金の使途は自由です。

特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。

採用期間中、最大450万円の研究費が受給できます。

研究のための補助金ですので、自身の研究遂行のためにしか使用できません。

申請は、応募時に提出する研究計画調書のみです。（応募時に申請しないと、受給できません）研究計画調書の内容を審査され受給額が決定します。

報酬の受給には制限がありますので、採用時には、遵守事項を確認してください。

また、日本学生支援機構や国費奨学金、つばめ奨学金など国費を原資に含む奨学金は受給できません。

● 特別研究員**DC**のキャリアパス

採用後の就職状況について

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

https://www.jsps.go.jp/file/storage/j-pd/3/syusyoku/R5_DC.pdf



《学振の調査結果より》（令和5(2023)年4月1日現在）

日本学術振興会特別研究員-DCは、採用期間終了5年経過後調査では、73.3%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。

● 特別研究員DC応募スケジュール

今回の募集は2026年度採用分です。

募集要項が未公開のため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

2025年2月上旬	募集開始（募集要項等の公開）
2025年4月中旬	電子申請システムで申請書受付開始
2025年5月下旬	学内の申請書提出締切
2025年10月	一次結果開示（採用内定、二次候補、不採用） → 二次候補となった方のみ二次選考へ
2026年1月	二次結果開示（採用内定、不採用、補欠）
2026年2月	補欠繰上結果開示
2026年4月1日	採用開始

- 本学では、例年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。（Zoom開催予定）
次スライドでご案内するHPによる情報提供
- 過去に学振特別研究員に採用された方のご厚意で提供いただいた**申請書の閲覧サービス**を行っております。＜閲覧のみ、複写不可＞ 閲覧をされる場合はメールにて希望日時（30分）をご連絡ください。

● 日本学術振興会特別研究員 参考情報

東京科学大学日本学術振興会 特別研究員

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_token/index.html

日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>



事務局3号館

問い合わせ先

東京科学大学 研究推進部 研究資金支援課 研究資金助成グループ

事務室：事務局3号館2階

(大岡山キャンパス正門から学内セブンイレブンに向かって直進、左側、
検収センターの一つ先隣の建物)

メール：j-fellow@jim.titech.ac.jp

TEL：03-5734-3806（内線3806、7221）

9. 海外留学と語学学修

1) 海外留学

● Taki Plaza B1階で留学に関する情報を集めよう

留学情報館（Taki Plaza B1階）では、留学関連資料を閲覧できます。また、募集中の留学プログラムや留学奨学金について案内しています。

➤ 留学コンシェルジュ（留学相談担当）に個別相談してみよう。

海外派遣業務に関わっている海外経験豊富な教職員が皆さんの相談に応じます。例えば次のような悩みがあるときは、留学コンシェルジュにご相談ください。

- 留学をしたいけど何から始めていいか分からない
- 留学プログラムが沢山あり、どのプログラムが自分に合っているか分からない

➤ 相談方法

- 対面、Zoom、メールでの相談を選べます。

本学HP、留学情報館・留学コンシェルジュページの申し込みフォーム→から予約してください。

留学情報館



留学イベントに参加しよう！



年に一度の留学フェアと、定期的に行われる留学報告会で本学学生のための留学最新情報をお伝えしています。本学の国際教育から各留学プログラムの募集情報にいたるまで、本学オリジナルイベントになっています。漠然と留学に興味のある人から、留学を真剣に考えている人まで、みなさんお気軽にご参加ください！



2) 語学学修

➤ 外国語学修相談室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/advisory.html>

外国語の授業でもっといい成績をとりたい、自分でできる外国語の勉強法を知りたい、留学のためにどんな準備をすべきか知りたいなど、外国語の学修に関することなら何でも相談できます（英・独・仏・中・露・西）。

- ・ 開室時間 時間はウェブサイトでご確認ください。
- ・ 担当者 リベラルアーツ研究教育院外国語セクションの専任教員



➤ Open English Office Hours <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/office.html>

英米加出身の講師が、英語学習に関わるさまざまな相談に応じています。一対一または少人数での会話ができ、リスニング、スピーキングの練習をするつもりで利用できます。

- ・ 詳細はウェブサイトでご確認下さい。



➤ 外国語学修資料室 <https://www.fl.ila.titech.ac.jp/resource.html>

外国語学習用に各種語学教材（英・独・仏・中・露・西・その他）の閲覧・貸出を行っています。

- ・ 場所 西3号館7階701号室
- ・ 開室時間 時間はウェブサイトでご確認ください。
- ・ 貸出 1人2冊まで 2週間



3) にほんご相談室 Nihongo Space

にほんご相談室は、日本語での会話練習、個人チュートリアル（日本語学習に関するアドバイスや文章添削）、日本語自習テーブルなどの支援を行っています。

場所：	日時：
大岡山キャンパス 西1号館留学生ラウンジ	毎週水曜日と木曜日 (12:40-14:00)
すずかけ台キャンパス G1棟1F 116	詳細は下記URLに掲載



会話練習



個人チュートリアル

- ・会話練習

本学学生（ランゲージパートナー）と一緒に日本語の会話練習を行います。

- ・個人チュートリアル

日本語教員に日本語の文章をみてもらうことができます。
また日本語の勉強の仕方についても相談できます。

- ・日本語自習テーブル

授業の予習・復習、ひらがな・カタカナ文字の練習、JLPT対策など、
日本語学習のために日本語自習テーブルを活用することができます。

※にほんご相談室の詳細は下記URLへ。

https://js.ila.titech.ac.jp/~web/nspace_j.html



10. 大学院生活をより豊かに

1) 支援体制・相談窓口

学生支援センター

学修・履修に関する相談の提供、
および新入生向けのガイダンス
と情報提供

学勢調査、ピアサポート
など、学生の自律的な活
動をサポート

自律支援担当

就職やキャリアに関す
るガイダンスの実施、
キャリア相談

キャリア
アドバイザー

留学生と日本人学生の
交流促進や、留学生向
けイベント実施

国際交流
支援担当

未来人材育成部門

学生相談部門

教員、元教員による、
学生の様々な悩みに対
する相談サポート

学生相談室
電話相談デスク

障害がある学生がより
よく学べるようサポー
ト

バリアフリー
支援室

学修
コンシェル
ジュ



学生一人一人に担当アカデ
ミックアドバイザー教員がつ
き、学修計画の立案・遂行を
サポート

アカデミック
アドバイザー

教員やTA(Teaching
Assistant)等による
相談室を設け、
学修をサポート

学修相談室
TA、チューター

TA・GSA(Graduate
Student Assistant、
大学院アシスタント)
の活動支援を通じ
て、学修をサポート

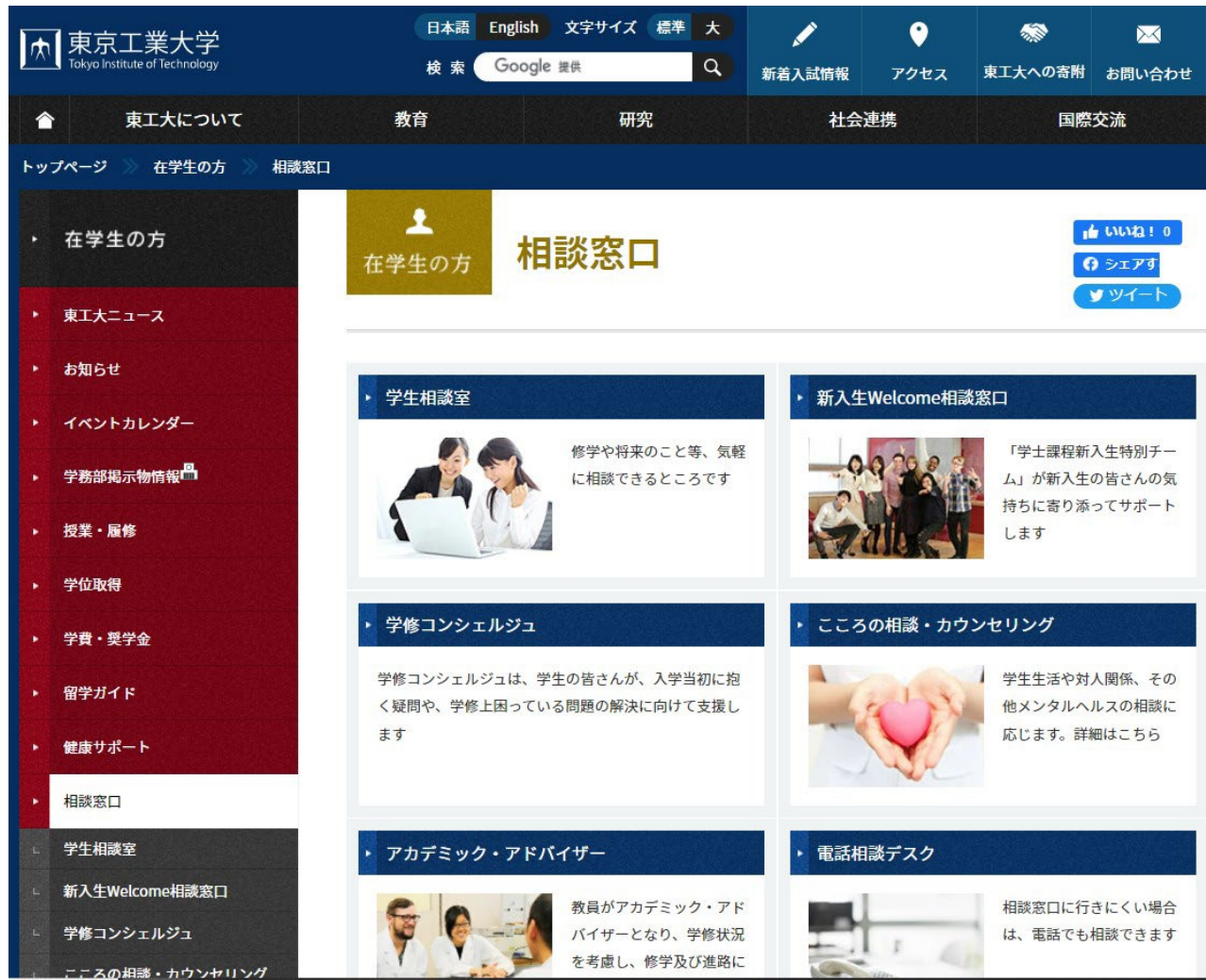
教育革新
センター

保健管理
センター

学生生活の基盤であ
る心身の健康をサ
ポート

一人で悩んでも解決しない問題も多々あります。抱えている悩み事に
応じて窓口を選び、ぜひ誰かに相談してみてください。

相談窓口の利用情報は、大学HPの下記ページで確認できます。



The screenshot shows the Tokyo Institute of Technology (Tokyo Institute of Technology) website. The top navigation bar includes links for Japanese, English, text size, and search. The main menu on the left lists various university services. The central content area is titled '相談窓口' (Consultation Window) and features several sub-sections: '学生相談室' (Student Consultation Room), '新生Welcome相談窓口' (New Student Welcome Consultation Window), '学修コンシェルジュ' (Academic Counselor), 'こころの相談・カウンセリング' (Heart-to-Heart Consultation/Counseling), 'アカデミック・アドバイザー' (Academic Advisor), and '電話相談デスク' (Telephone Consultation Desk). Each section includes a brief description of the service and a small image.



このQRコードからページ
へアクセスしてください。

ウェブサイトは10月1日
付で東京科学大学仕様に
変更になります。

2) 図書館

- 図書館をうまく活用できるよう、本格的に研究をはじめる大学院課程進学のタイミングで、図書館ウェブサイトぜひご覧ください。学士課程から本学に在籍し既にご存知の方も、この機会におさらいしてみてください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/>



- 大岡山図書館には、グループ学習や研究発表に利用できるグループ研究室があります。すずかけ台図書館には、ひとりで集中できるブースや、オンラインミーティング等に活用できる個室があります。



https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/group_study



https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/seminar_room

https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/personal_research_area



➤ 講習会・セミナー

データベースの利用講習会を開催します。

※過去にオンラインで開催された講習会セミナーの一部は、
図書館ウェブサイトで閲覧できます。

<https://www.libra.titech.ac.jp/seminars>



➤ 電子資料の利用

大岡山キャンパス・すずかけ台キャンパスで利用できる電子資料をまとめました。大岡山キャンパス・すずかけ台キャンパス所属者はSSL-VPN経由で学外からもアクセスできます。ぜひご利用ください。

<https://www.libra.titech.ac.jp/guide/members/electronic>



➤ 文献収集などで困ったときは、こちらへご相談ください。
<https://request.libra.titech.ac.jp/cgi-bin/request/ask/ask.cgi?ulang=jpn>



3) リベラルアーツ図書室

- 貴重な人文科学系の書籍や資料からリベラルアーツ研究教育院教員の著書、最近の文芸書、辞典など約27,000冊を所蔵しており、一部を除いて閲覧、貸出が可能です。
- 国内外の名作映画など様々な分野のDVD、Blu-rayを約600作品そろえており、図書室内で視聴できるほか、一部は貸出もしています。
- 読書や自習スペースとしてもご活用ください。飲み物の持ち込み可能で、キャンパス無線LANをご利用できます。
- 場所：大岡山キャンパス 西9号館E棟1階114号室
- 開室日時：月～金曜日 10:30～17:00

(祝日・年末年始を除く, 長期休暇中は13:15～14:15閉室)

URL : <http://libra.ila.titech.ac.jp>



X(旧Twitter) : @TokyoTech



4) 東京科学大学博物館・資史料館



← 科学大博物館 (正門入ってすぐ)
世界から注目される篠原先生の名建築！

2階：科学大史、電気光通信、篠原一男

1階：くつろげるオープンスペースと生協

地下1階：人間国宝からノーベル賞まで
東工大の歴史的成果を展示

➤ 博物館 本学の歴史、研究の歴史的成果について知りたい！

場所：東京科学大学博物館（大岡山キャンパス）

入場無料

開館日時：月～金曜日 10:30 ～ 16:30 (祝日・年末年始を除く)

➤ 資史料館・公文書室 本学の歴史や工業教育史に関わる資料閲覧したい！

場所：G5棟 7 階（横浜キャンパス）

詳細についてはURL: <http://www.cent.titech.ac.jp/pg1166.html>

5) TSUBAME計算サービス

- TSUBAMEは、学術国際情報センター（GSIC）が2006年より運用しているクラスタ型スーパーコンピュータです。
- 2024年4月に稼働を開始したTSUBAME4.0は、国内有数規模を誇るスーパーコンピュータです。前システムのTSUBAME3.0の約5.5倍の演算性能（倍精度・行列演算）を有し、その計算能力は本学の学生・教員のみならず、日本全国の大学・研究所や多くの企業に利用され、ものづくり・防災・環境・医療・AIなどの幅広い領域で活躍することが期待されています。

<https://www.gsic.titech.ac.jp/tsubame>



6) オンライン教育：MOOC

(Massive Open Online Course)

- MOOCは、誰でも受講することができるインターネット授業です。世界中の1,300を超える大学から200,000以上の授業が公開されています。
- 英語で発信している授業が多数あり、また英語の字幕もあるため、英語の勉強にも役立ちます。
- 本学も大隅栄誉教授のMOOCなど、17のMOOCを公開しています。MOOCを開発するにあたって、大学院生の皆さんに有給のTAやGSA（大学院生アシスタント）として活躍してもらっています。
- 詳しくは、教育革新センターのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.oedo.citl.titech.ac.jp/>



7) アントレプレナーシップ育成プログラム ／起業支援

➤ アントレプレナーシップ育成プログラム

アントレプレナーシップ（起業家精神）を身につけ、体系的にステップアップしたい人、実践プログラムで社会に価値を定着させる体験をしてみたい人、そして「やりたい」ことを明確に持ち、社会事業・ビジネスを始めたい人まで、どのカテゴリーにも対応できるプログラム（履修科目 およびイベント）が提供されています。

<https://www.titech.ac.jp/0/students/entrepreneurship>



➤ 起業を目指すあなたへ

本学では起業に関心のある学生に向けて様々な支援が提供されています。具体的な支援内容についてはイノベーションデザイン機構の学生支援サイトをご覧ください。資金支援プログラムから起業支援スペース、イベント情報、起業に関する手続きや見落としがちな注意点まで実践的なお役立ち情報を掲載しています。



■ 起業相談室『Go startup』



起業に興味のある学生のために、
起業相談やコーチングを通じて、
スタートアップへの後押しをする
相談窓口。お気軽に利用ください。

■ 実践型起業塾『STARTech』



起業にチャレンジしたい学生のための、
実践道場。先輩起業家との対話や
スタートアップビジネスのレクチャーを
通し、ビジネスプランをブラッシュアップします。

■ 8th Tokyo Tech

起業を目指す学生を対象に、アイデアやビ
ジネスモデルを検証し、世界へ発信する活動
を支援するプログラム。支援最高額は100万
円。意欲ある学生の魅力的な提案を期待しま
す。

■ Tokyo Tech Startup STUDIO



科学技術への探究心を生かして、
社会を変えたい学生のためのプログラム。
各方面の専門家や研究者とともに、
ありたい社会の実現に向け、課題を見つけ、
解決法を考えます。そして、ユニコーンと
なりうる企業の創業を目指します。

インキュベーションスタジオ 「INDEST」

起業活動に取り組む学生・教員やスタートアップのための活動拠点

3フロアにわたり、
共用コワーキングスペースや固定席、
半個室、個室完備、登記も可能。

毎月、様々な勉強会やイベントを開催！



① イベント情報



② 施設紹介



③ 入居案内



JR田町駅 芝浦口徒歩1分

8) 東工大同窓会による支援活動

➤ 蔵前工業会による支援活動 <http://www.kuramae.ne.jp/>



- 学生分科会
(在学生がメンバーとなって、蔵前ジャーナル（蔵前工業会会誌）の企画などを担当）
- 蔵前立志セミナー＆蔵前ゼミ
(OBによる講演会・講義、大岡山とすすかけ台で開催)
- 東工大基金への募金活動及び学生支援
- くらまえアドバイザー（OB）による就職活動支援
- 学修コンシェルジュによる新入生ガイダンス

➤ 学科別同窓会による支援活動

- 学科別同窓会：18同窓会
- 支援内容： 講演、就職活動支援他

➤ 研究室同窓会

➤ サークル同窓会

9) Taki Plazaでの学生交流

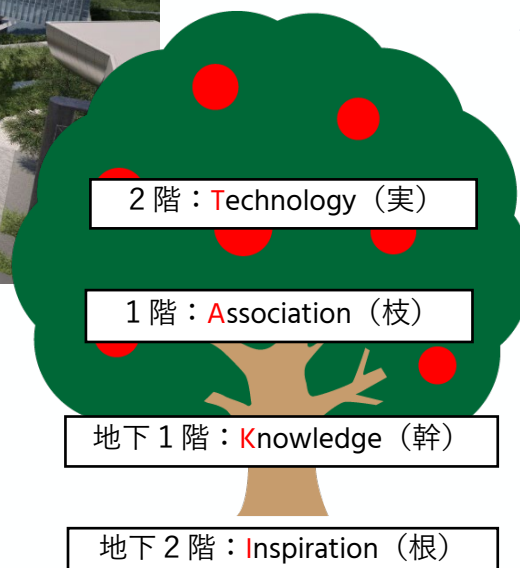
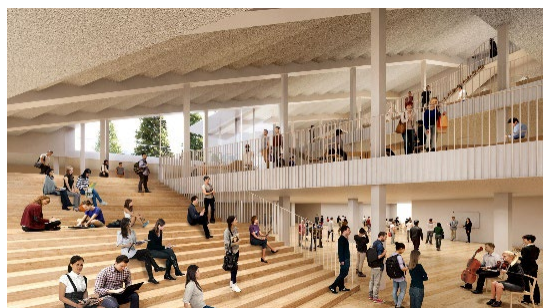
大岡山キャンパスのランドマーク

Hisao & Hiroko Taki Plaza 通称 (Taki Plaza)は、学生交流施設です。

建物コンセプト：外国人学生と日本人学生がここで出会い、絆を深め、共にまだ見ぬ未来を生み出そう。



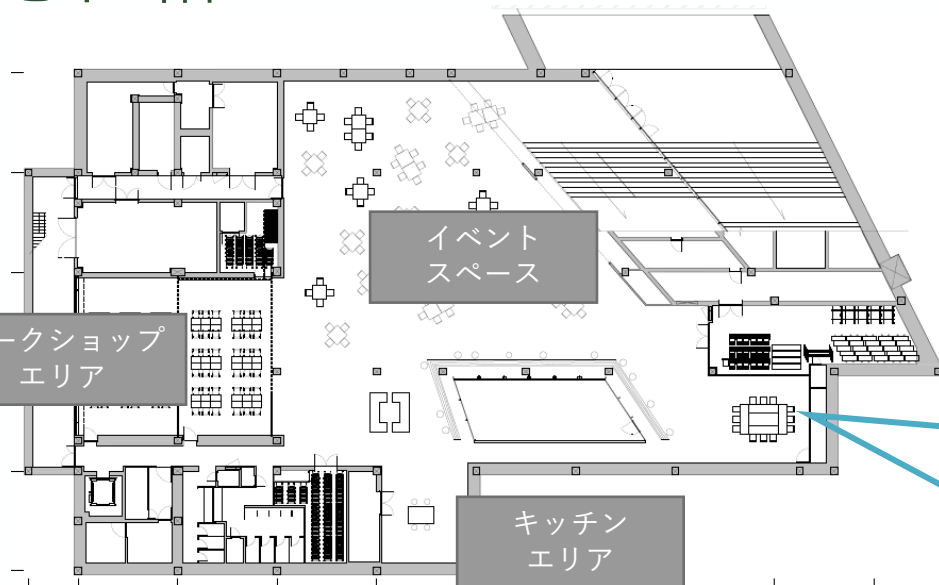
Taki Plaza ウェブサイト
トップページ>在学生向け>施設利用>Taki Plaza



- 2 階：クリエイティブスペース
志を持った学生が集まり、学生の創るアイデア（技術）が「実」を結ぶ場。
- 1 階：カフェ、パブリックアート
外の世界へとつながり「枝」を広げる場。
- 地下1 階：留学・就職・学修情報エリア
知識を蓄積し、世界へ羽ばたくための「幹」を強化する場。1on1ピアチュータリング（理工系科目、語学、ライティング等）を実施。
- ポイント：「留学生支援の強化」
「学生同士の学び合い促進」
- 地下2 階：イベントスペース
仲間との交流を通じて、「根」より原動力となる“ひらめき”を得る場。

※1 階、地下1 階に学務部学生対応窓口を集約し、ワンストップサービスを実現。

地下2階



イベントスペースでは、
日本人と留学生の交流イベントや学生企画
の様々なイベントを開催しています！

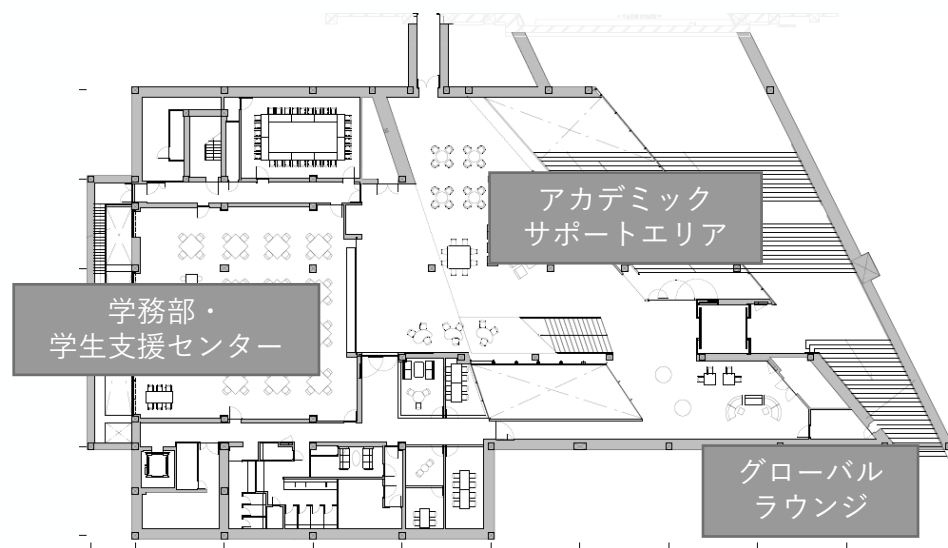
キッチンでは、留学生に母国の料理を教え
てもらえるかも？

TPG居室

ここはTaki Plazaを学生目線で活用する学生
団体Taki Plaza Gardener (TPG)の居室です！
イベント開催やコミュニティづくり、
フリーペーパーの発行等、Taki Plazaに関す
るあらゆることを考え、実行しています！



地下1階

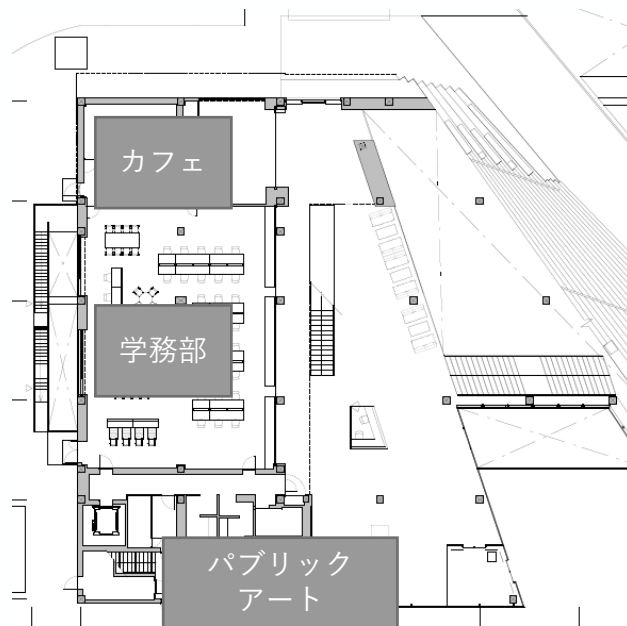


アカデミックサポートエリアには、留学や
学修、就職情報コーナーがあり、各種
コンシェルジュが相談にのってくれます！

グローバルラウンジは、海外放送が流れ、
留学生が集うスペースです。

留学関係、課外活動、保険（学研災/学研
賠）、学生寮、キャリア相談等の窓口があ
ります。

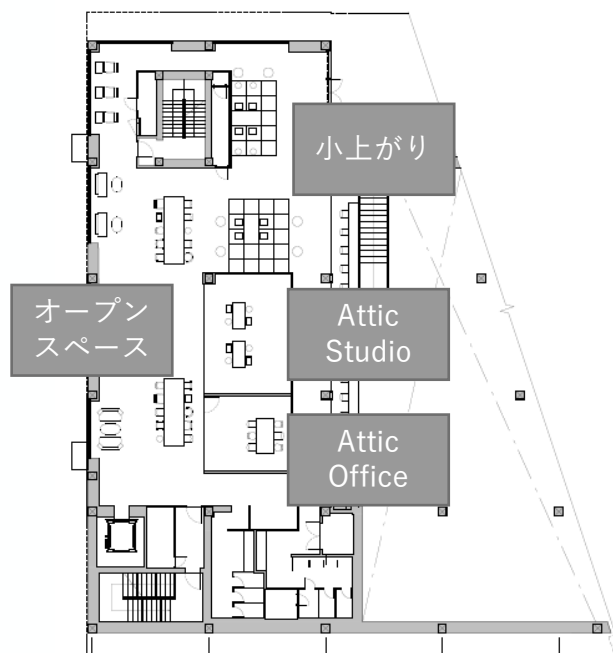
1 階



正門側の入口には「AKIRA」で有名な漫画家の大友克洋氏の巨大アート、ウッドデッキ側にはカフェがあります！

教務関係、経済支援の窓口があります。

2 階



ものづくりルームがあり、アイデアを形にすることができるオープンなスペースです。

小上がりのデザインや家具の選定も本学学生が行いました！

10) 大岡山キャンパスのグループ学修室

共用施設	東地区	東地区	東地区	西地区
	★大岡山 図書館	★Taki Plaza 2階 (階段脇の長机)	★Taki Plaza B2階	★リベラルアーツ 図書室
写真		 	 	 
利用時間	HP参照	HP参照	HP参照 ※イベント時は使用不可	HP参照

自習・グループ学修室の詳細はウェブページ（在学生向け＞施設利用）
をご確認ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/facilities/study-room>



11) 国際交流・留学生支援

➤ Global Lounge

Taki Plaza B1階入口すぐのGlobal Loungeは、国際交流を目的としたスペースです。学生同士の交流を促す企画や留学のためのイベントなどが開催されています。

(飲食はできません。) ※オープン時間はTaki Plazaの開館時間に準じます。

Global Lounge (Taki Plaza B1階)
<https://takiplaza.gakumu.titech.ac.jp>



➤ 留学生のためのヘルプデスク

- ✓ お昼休みにGlobal Loungeで開催
- ✓ 身近な疑問に学生スタッフが対応
- ✓ 最新スケジュールはQRコードをscanしてGoogleカレンダーでご確認ください。



学修コンシェルジュJr.国際班

留学生ヘルプデスク

東工大生と一緒に悩み解決しよう！

こんな悩みありませんか？

- ・サークルはどうすれば入れますか？
- ・図書館の借書時間は何時からですか？
- ・クレジットカードはどうすれば申し込みますか？
- ・この単語の意味を英語・中国語・韓国語で説明してください！

学室以外にもキャンパスライフや大学生活などお悩みを学生と一緒に楽しみながら解決しましょう！
学修コンシェルジュJr.国際班のメンバーが対応します！

日程 ほぼ毎日12:40～13:20
QRコードを読み取ってカレンダーをご確認ください。

場所 Taki Plaza 地下1階 グローバルラウンジ

対応言語 英語・中国語・韓国語（担当者に直接ご確認ください。）

お問い合わせ先
学生支援センター 国際人材育成課 学修コンシェルジュJr.国際班
メールアドレス: internationalstudentsupport@jim.titech.ac.jp



▶ 国際交流イベントカレンダー

(Tokyo Tech - International Exchange Event Calendar)

1つのカレンダーで学内の国際交流イベントスケジュールを見られる便利なGoogleカレンダーです。
こちらのQRコードからカレンダーをご登録いただけますので、是非ご活用ください！ →



▶ 学生スタッフによる多言語チャット

- ✓ お昼休みにGlobal Loungeで定期開催
- ✓ 英語・中国語・韓国語・日本語の中から好きな言語を選んで小グループに分かれチャットします。



←前学期開催の様子



16 - 22 Oct

Fri
20

Multilingual Chat[Peer Life Coach]/多言...
12:50-13:20 at Hisao & Hiroko Taki Plaza...

Temakizushi party
17:30-20:00 at Taki Plaza BF2

23 - 29 Oct

Sat
28

School Festival (Day 1/2)

Sun
29

School Festival (Day 2/2)

30 Oct - 5 Nov

November 2023



6 - 12 Nov

Fri
10

Multilingual Chat[Peer Life Coach]
12:50-13:20 at Hisao & Hiroko Tak



関連ウェブサイト:

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/extracurricular/jobs-campus/concierge-jr#InternationalExchangeTeam>

Institute of
SCIENCE TOKYO

東工大OBが活躍する企業より企画協力いただき、ものづくり教育研究支援センターと学生支援センター未来人材育成部門主催で実施しています。2023年度は、オンラインと対面（大岡山キャンパス）合わせて4回開催されました。



学生支援センター未来人材育成部門では、理工系学生の創造性を育むことを目的として、年2回アートセミナーを実施しています。セミナーは英語・日本語の併用で行われるため、多様な背景を持つ学生たちの交流を実現しています。2024年度は、春はすずかけ台キャンパス、秋は大岡山キャンパスで開催されました。



各セミナーの開催の様子はウェブページをご覧ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/counseling/concierge>

11. 修士課程 2 年間の主なスケジュール と進路報告のお願い

13) 修士課程2年間の主なスケジュール (概要)

※2024年度のスケジュールを基に作成していますので、正式なスケジュールは各自で確認してください。

M1										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・入学式 ・第1第2 クォーター 履修申告	・インター ンシップガ イダンス ・k-seek (インターンシ ップ企業研究会)	・第1クォー ター期末 試験・補講	・第2クォー ター期末 試験・補講 ・短期留学	・第3,4 クォーター 履修申告 ・夏休みキャ リア ガイダンス		・第3 クォーター 期末試験・ 補講 ・K-find (蔵前工業会主 催の企業研究 会) ・留学生就職 ガイダンス	・就職対策講 座	・第4クォー ター期末試 験・補講		・就職活動解 禁 ・K-Meet (蔵前工業会 主催の合同企 業説明会)

M2										
4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・第1,第2 クォーター 履修申告		・第1クォー ター期末 試験・補講 ・企業の 選考開始 ・就職活動 再点検講座 ・K-Meet 3 (蔵前工業会 主催の合同企 業説明会)	・第2クォー ター期末 試験・補講	・第3,4 クォーター 履修申告	・就職正式 内定	・第3 クォーター 期末試験・ 補講	・修士課程 学位論文 審査申請 ・博士後期 課程 進学願書 受付	・第4クォ ーター期末 試験・補講	・論文発表 会、論文審 査及び最終 試験 ・博士後期 課程進学 試験	・博士後期 課程進学合 格通知発送 ・学位記授 与式

本学では、修了・単位修得退学するすべての方に 進路報告をお願いしております。（修士・博士後期課程共通）

この報告は、大学が国から義務付けられた調査への回答や、本学の就職率・大学ランキング算出などの基礎データとなる大切なものです。

何より、皆さんの後輩が就職・進学を考える際に大いに役立ちますので、ご理解、ご協力をお願いします。

進路の報告は 卒業・修了・単位修得退学の1か月前が 締め切りです

対象 全課程の卒業・修了生 および 博士後期課程単位修得退学者



就職・
勤務先に戻る



進学



採用試験準備



就職活動継続



進路未定・
その他

進路報告の詳細は以下よりご確認ください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career/report>

この他、キャリアに関する情報は以下より
ご覧いただけます。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career>

< 本件担当 >

学生支援課支援企画グループ

E-mail : career.rep@jim.titech.ac.jp

Slack : #an-career-report-進路報告

学生支援課 支援企画グループ (Taki Plaza B1F)

E-mail career.rep@jim.titech.ac.jp
Slack #an-career-report-進路報告

詳細はこちら



Appendix

東工大の歴史と教育

東工大の歴史

1881年5月 1890年3月 1901年5月 1929年4月 1949年5月 2004年4月 2021年5月 2024年10月

東京職工学校設立

1890年
手島精一
校長就任

東京工業学校と改称

1884-92年
ワグネル博士

東京高等工業学校と改称

→ 1916年退任

東京工業大学へ昇格

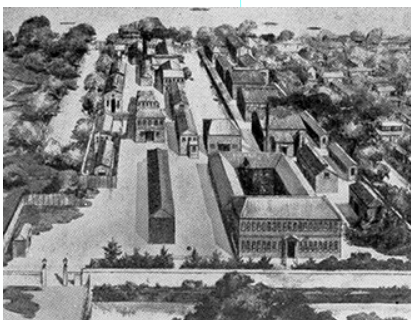
国立東京工業大学新設

国立大学法人
東京工業大学 設立

創立
140周年

東京科学大学
誕生

国立大学法人



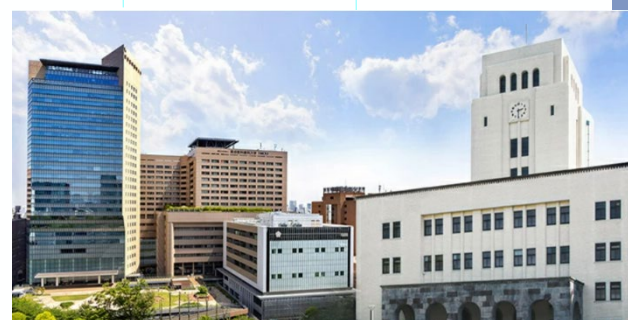
東京職工学校の校舎全景
(蔵前)



東京高等工業学校の本館
(蔵前)



1941年 キャンパス全景
(大岡山)



新生！ 東京科学大学

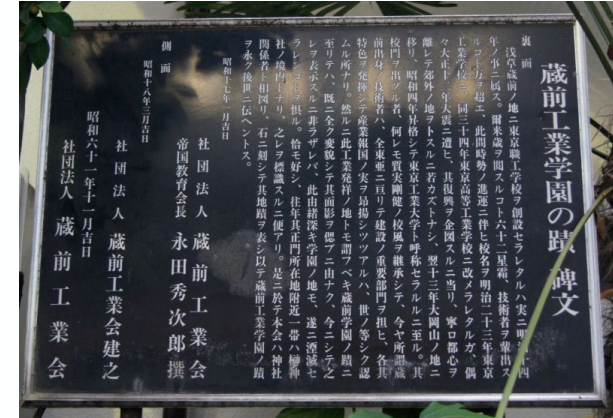
1882年
蔵前に校舎

1906年
蔵前工業会（同窓会）

1923年 1924年
関東大震災⇒大岡山へ

● 蔵前 ～東工大発祥の地～

1882年12月、台東区蔵前2丁目辺りに、
本学の前身である東京職工学校の
レンガ造りの校舎が竣工。



- 「煙突のあるところ蔵前人あり」といわれる
ほど豊富な人材を生み出した。
- 東京工業大学の同窓会が「蔵前工業会」である理由

1923年9月1日、関東大震災により蔵前の校舎が
灰燼に帰す。

1924年4月、大岡山の地に移転。



蔵前の記念碑探検に行こう！
「第六天神榊神社」の境内に
あるよ！

● 創立初期に東工大を育てた人物

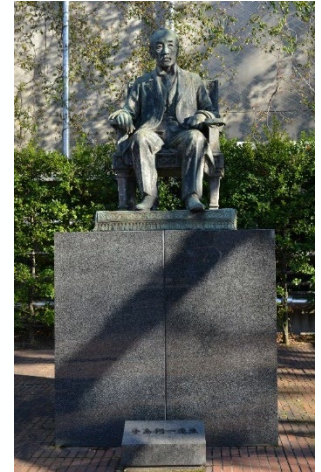
◇ 手島精一

1890年校長就任～1916年退任 日本における工業教育の父

～工業学校と産業界の連携を保ち、
民業育成と工業近代化を担う人材を育成～

- 校名の改称
「東京職工学校」→「東京工業学校」
工業教育の重要性を訴えた
- 学科の改組
産業界の推移に適切に対応
- 志願者の拡大を図るため、入学手続きを改正
地方での受験、成績優秀者の特別入学許可など

本館前の桜並木の
近くにあるよ！



ひょうたん池近
くに記念碑

◇ G. ワグネル博士

1884年窯業学を開講、1886年陶器玻璃工科設立
創立初期唯一の外国人教師 旭焼の開発（東工大博物館に所蔵）



● 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

絶対零度-273.15℃
の決定

1954年、木下正雄と
大石二郎の成果により
絶対零度の下2桁が決定



オートファジーの
仕組みの解明

大隅良典
2016年ノーベル生理学・医学賞



世界ではじめての
ブラウン管式テレビ

高柳健次郎が
1926年に発明



光ファイバー通信

末松安晴が1961年から
光通信の研究を開始
末松門下生は学会・産業界で
光ファイバー通信の研究・事業化に
世界レベルで貢献



量子コンピュータ

1998年、西森秀稔が
量子アニーリングを提唱
量子コンピュータの
実用化に向けて大きく貢献



高性能スパコン
「TSUBAME」

省エネ性能世界一



薄膜トランジスタ
「IGZO」の開発

細野秀雄のプロジェクトで
発明された研究成果を基に
シャープが世界初の量産化に成功



● 東工大が積み重ねる世界一級の『実績』

導電性ポリマーの 発見と開発

白川英樹が東工大在籍中に発見
2000年ノーベル化学賞
ディスプレイ、LSI への応用へ

温度無依存 水晶振動子



古賀逸策が1932年頃に発明
2017年、IEEEマイルストーン
に
認定される

フェライト・超伝導



加藤與五郎、武井武が
1930年にフェライト
(磁性体)を発明
TDKにより事業化される
細野秀雄は、鉄系化合物による
高温超伝導物質を発見

アンモニア合成への貢献



1913年、初の工業化チームの
一員として田丸節郎が活躍
その後の触媒開発を尾崎萃、
秋鹿研一、細野秀雄、原 亨和らが行う

ビタミンB2

星野敏雄、佐藤徹雄が
1951年に合成・工業化に
成功

東工大百年記念館



東工大におけるミュージアム
機能の中心的な役割
設計者である篠原一男は、
2010年ヴェネツィア・ビエンナーレ
特別記念金獅子賞

歯車

中田孝が1929年頃から
研究を開始
自動車産業の発展に
大きく貢献

◆大隅良典栄誉教授 ノーベル生理学・医学賞2016受賞記念碑



◆古賀逸策名誉教授 「温度無依存水晶振動子」 IEEEマイルストーン記念碑



◆図書館内 大隅良典栄誉教授展示コーナー

2) 東工大の教育

● 東工大が掲げる人材像

卓越した専門性に加えてリーダーシップを備えた
理工系人材を育成し、より良い世界を創る

卓越した専門性



- 数学・物理学・化学・生命科学など理工系基礎科目の充実による徹底した基礎学力
- 世界最高水準の科学・技術分野での基礎学力・専門能力
- 科学・技術により新しい社会を切り拓く気概

リーダーシップ



- 専門に加え教養も含めた幅広い視野
- 異分野・異文化を許容し協調するためのコミュニケーション能力
- グローバルな課題へ挑戦する力
- 世界に雄飛する気概と人間力

● 東工大の教育ポリシー



● 東工大修士課程の養成する人材像

国際的に貢献できる科学技術の専門家

修士課程では、幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

● 修士課程の卒業認定・学位授与の方針

(ディグリー・ポリシー)

専門力	幅広い専門力：研究及び技術開発を深める幅広い専門力
教養力	国際的に通用する教養と自ら学び考え続けることができる力： ・物事を俯瞰的かつ 国際的な視野で把握でき、国際的に通用する幅広い知識と語学力 ・目的を掲げ、倫理観と何事にも挑戦する意志をもって行動し、自ら学び考え続けることができる力
コミュニケーション力	状況に応じた説明ができ、多様な考えをまとめることができる力：周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができ、そして、多様な考えをまとめることができる力
展開力（探求力又は設定力）	科学技術の深奥を究めようとする探求力：多角的な視点で事象を整理できるとともに、論理的な思考で分析でき、科学技術の深奥を究めようとする探求力
展開力（実践力又は解決力）	実践的な問題を解決できる力：豊かで確かな発想力や創造力を用い、幅広い知識や技能を自在に活用して実践的な問題を解決できる力

● 博士後期課程の養成する人材像

より良い社会を構築できる科学技術のフロンランナー

博士後期課程では、卓越した専門力、並びに、国際的な場で実践できる教養、そして、社会に対して論理的に説明でき、リーダーシップを発揮できる力を身に付け、限界を設けず挑戦し本質や普遍性を見抜いて、新たな知の発見、価値の創造及び発信ができる人材を養成します。

● 博士後期課程の卒業認定・学位授与の方針

(ディグリー・ポリシー)

専門力	卓越した専門力：研究及び技術開発をリードして、新たな知を生み出し、かつ体系化へと導く専門力
教養力	国際的な場で実践できる教養と自ら学び考え抜き行動することができる力： ・物事を俯瞰的かつ国際的な視野で理解でき、国際的な場で実践できる体系的で幅広く深い知識と語学力 ・確かな倫理観と限界を設けず挑戦する強い意志をもって、新たな知の発見及び価値創造のために自ら学び考え抜き、具体的に行動することができる力
コミュニケーション力	社会に対して説明ができ、リーダーシップを発揮できる力：社会に対して論理的かつ状況に応じた説明ができ、そして、リーダーシップを発揮できる力
展開力（探究力又は設定力）	新たな課題を発見し探究及び設定できる力：多角的な視点で事象を整理できるとともに論理的な思考で分析でき、科学技術の深奥を究め、さらに、本質や普遍性を見抜いて新たな課題を発見し探究及び設定できる力
展開力（実践力又は解決力）	実践的で高度な問題を解決でき、新たな知見を発信できる力：独創的で優れた発想力や創造力を用い、幅広く深い知識や技能を有機的に結び付けて活用して実践的で高度な問題を解決し、さらに新たな知見を発信できる力